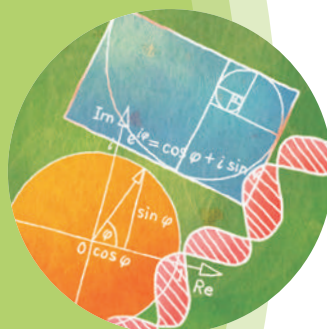




京都大学
KYOTO UNIVERSITY

日本語版



京都大学への留学案内
ADMISSIONS GUIDE
for INTERNATIONAL APPLICANTS
2022-2023



京都大学は、1897年6月に創設された伝統ある大学です。メインキャンパスは、歴史的都市として伝統的日本文化がいまなお保存されている京都に位置しています。創設以来、本学は高等教育における自由な伝統的学風の創設に寄与してきました。本学の卒業生は、国内外で学問、政治、産業、その他社会の重要な分野において貢献しています。

現在、本学は10学部、18大学院、他に13の研究所、23のセンターと附属機関によって構成されています。約23,000人の学生の中には約120の国と地域の留学生がおおよそ2,700人含まれ、国際色豊かなキャンパスを構成しています。

京都大学の強み

1

最先端の研究力

京都大学には優れた研究者が集います。世界中から様々なバックグラウンドを持つ研究者や学生が訪れ、それぞれが専門とする分野の研究はもちろんのこと、最先端かつ多彩な研究を行っています。それを可能としているのが、京都大学の伝統である「自由の学風」です。研究者は自らの興味に従い、研究を進める。この伝統こそが、フィールズ賞やガウス賞、ラスター賞そして10名のノーベル賞といった多くの国際的な賞を受賞した理由であるといえるでしょう。この豊かな学問的研究の中で学ぶことができます。



2

将来の国際的リーダーを育てる教育

京都大学の学生たちは、将来、さまざまな分野でのリーダーとなるために、のびのびとした環境のなかで学習をし、また多様な経験を積んでいきます。あなたは、京都大学が提供する数多くの授業のなかから自分の将来に役立つ授業を選び、学ぶことができます。また、サークル活動やボランティア活動のような課外活動を通じて、積極的に行動する「実行力」を身に着けることができますでしょう。そのような経験を通して、将来、世界に評価される指導的な役割を果たす力が養われるでしょう。



3

歴史的な京都で学ぶ

京都は8世紀から19世紀までの1000年以上の間、日本の首都であり、それゆえ政治と文化の中心でした。いまなお数多く残る歴史的建築物や文化財のうち、清水寺や金閣寺などの約17もの寺社仏閣が世界文化遺産として登録されている文化都市であり、美しい自然が共生する観光都市でもあります。あなたはこの町で落ち着いて学習し、深い思索を行うことができます。また、京都は先端産業の街でもあります。日本を代表する電子産業企業が多数集まっており、京都大学はそのような企業と連携してイノベーションを創出しています。ぜひ京都で学びましょう。



目 次

① 大学紹介

学生数等	3
教育・研究組織	4
学年暦	

② 私費留学生として入学するためには

正規生として入学（学位取得を目的とする）	
- 学士課程	5-6
- 修士課程・博士課程・専門職学位課程	7-8
- 大学院入学試験募集要項について	9-10
- English-Taught Degree Programs	11-16
- ダブルディグリー、ジョイントディグリー	17
非正規生として入学（学位取得を目的としない）	
- 研究生	17
- 交換留学生	
- 奨学金付き夏期研究プログラム（理系学部生対象）	18
- 短期交流学生	

③ 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として入学するためには

大使館推薦	19
大学推薦	20

④ 学納金・奨学金制度

学納金・授業料免除・入学科免除	21
奨学金制度	

⑤ 留学生支援・生活費・住まい

日本語教育	22
チューター制度	
留学生のための相談	
京都大学留学生ラウンジ「きずな」	
生活費	23
京都大学国際交流会館	
民間の住居	

⑥ 査証・在留資格・諸手続き

入学試験のための「短期滞在」査証	24
入学のための「留学」査証	
在留カード	
住民登録（居住地の届出）	
国民健康保険	
資格外活動許可証・アルバイトについて	

⑦ 資料

私費留学生対象奨学金一覧	25-26
事務室連絡先	27-28
キャンパス	29
京都の魅力と生活	30

学生数等

2021年5月現在、京都大学では約110の国と地域からの留学生2,667名が学んでいます。

課程別学生数

単位：人

	総学生数	留学生数
正規生	22,486	2,405
学士課程	12,956	234
修士課程	4,956	871
博士課程	3,826	1,171
専門職学位課程	748	129
非正規生	613	262
計	23,099	2,667

留学生数上位5学部・研究科

単位：人

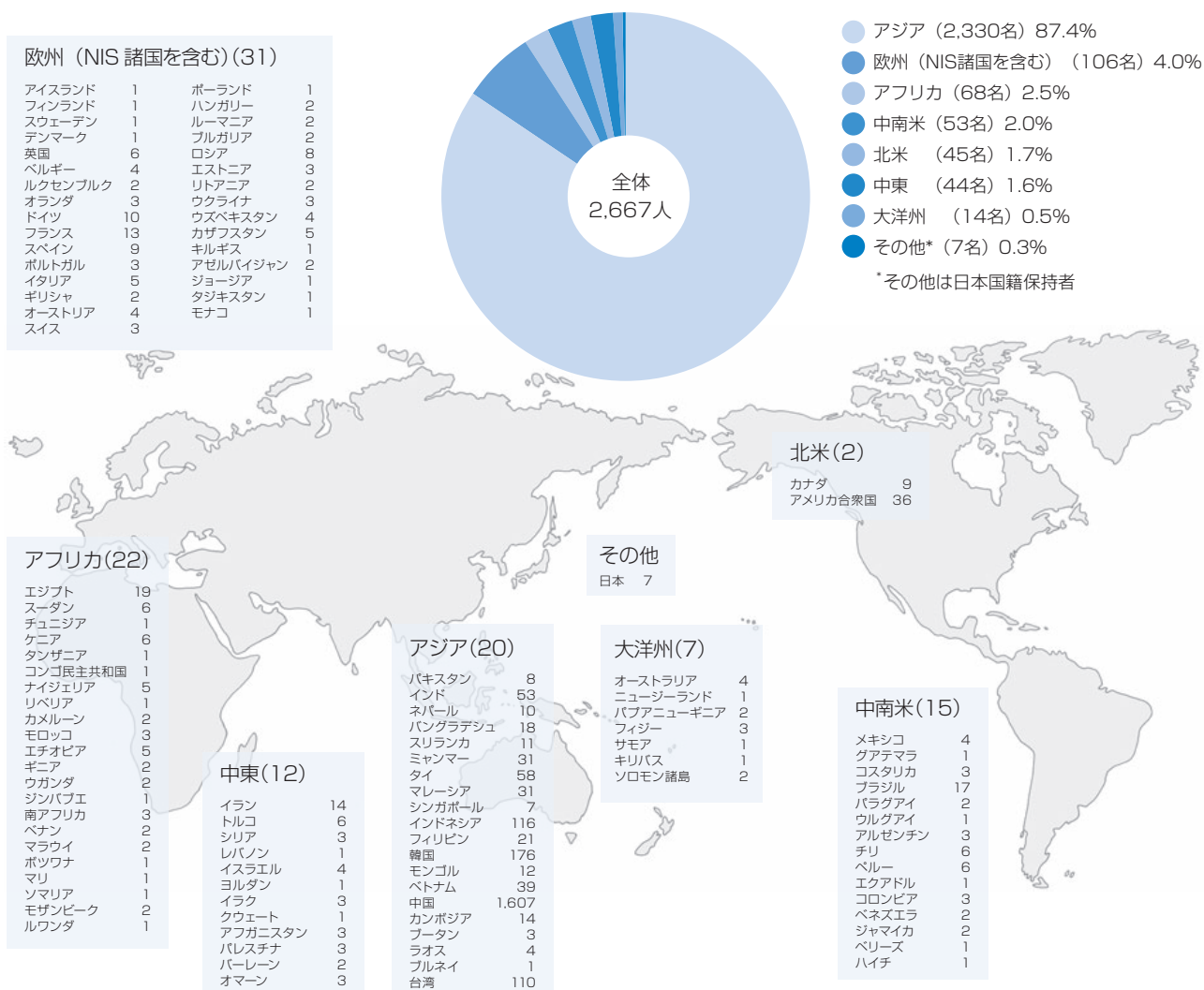
学部・研究科	学部	修士	博士	専門職 学位課程	非正 規生	計
工学部/研究科	153	167	250	0	21	591
農学部/研究科	13	106	99	0	14	232
医学部/研究科	0	35	138	12	24	209
総合人間学部/ 人間・環境学研究科	9	81	92	0	14	196
理学部/研究科	14	45	126	0	8	193

留学生数の内訳

単位：人

日本政府（文部科学省）奨学金留学生	516
私費留学生	2,151

地域別留学生数 2021年5月



*1 香港・マカオを含む

(注1) 総数2,667名中、留学ビザ留学生は2,497名

(注2) 非正規生には科目等履修生、聴講生、特別聴講生、特別研究学生、特別交流学生、短期交流学生、研究生を含む

(注3) その他は日本国籍保持者で、国・地域の合計数(109)には含まない

教育・研究組織

(2021年12月現在)

正規生（学位取得を目的とする）および非正規生（学位取得を目的としない）の受入を行なっているのは、学部および大学院です。その他、一部の研究所およびセンターでも研究生（非正規生）を受入れています。

学部(10)

総合人間学部
文学部
教育学部
法学部
経済学部
理学部
医学部
薬学部
工学部
農学部

附置研究所(13)

化学研究所
人文科学研究所
医生物学研究所
エネルギー理工学研究所
生存圏研究所
防災研究所
基礎物理学研究所
経済研究所
数理解析研究所
複合原子力科学研究所
霊長類研究所
東南アジア地域研究研究所
iPS細胞研究所

大学院(18)

文学研究科
教育学研究科
法学研究科
経済学研究科
理学研究科
医学研究科
薬学研究科
工学研究科
農学研究科
人間・環境学研究科
エネルギー科学研究科
アジア・アフリカ地域研究研究科
情報学研究科
生命科学研究科
総合生存学館
地球環境学舎
公共政策教育部（公共政策大学院）
経営管理教育部（経営管理大学院）

教育研究施設等(14)

学術情報メディアセンター
生態学研究センター
野生動物研究センター
高等教育研究開発推進センター
総合博物館
フィールド科学教育研究センター
福井謙一記念研究センター
人と社会の未来研究院
大学文書館
アフリカ地域研究資料センター
白眉センター
学際融合教育研究推進センター
大学院横断教育プログラム推進センター

高等研究院(KUIAS)

物質－細胞統合システム拠点 (iCeMS)
ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBI)

2022年度学年暦

前期始まり	4月1日
入学式	4月7日
創立記念日	6月18日
夏季休業	8月5日～9月30日
博士学位授与式	9月26日
前期終わり	9月30日

後期始まり	10月1日
秋季入学式	10月1日
11月祭	11月19日～22日
冬季休業	12月29日～1月3日
大学院学位授与式	3月23日
卒業式	3月24日
後期終わり	3月31日

学士課程【正規生】

京都大学には10の学部があり、学士課程を有しています。ここでは私費留学生として京都大学の学士課程へ入学するための出願資格や出願、選抜方法について簡単に説明します。詳細については、入学を志望する学部のWebページで確認し、不明な点があれば当該事務室(P.27-28 参照)へ問い合わせてください。

* 研究生や交換留学生等の非正規生として入学を希望する場合は、P.17-18 を参照。

* 英語による学位取得コースは、工学部地球工学科にあります。P.11-16 を参照。

* 日本政府(文部科学省)奨学金留学生として入学を希望する場合は、P.19-20 を参照。

■ 学部のリンク：<https://u.kyoto-u.jp/uvw6r>

■ 留学生のための入試：<https://u.kyoto-u.jp/abs3g>

学部		キーワード
総合人間学部		教育、心理、宗教、映画文化、メディア、認知行動科学、言語学、文明、国際関係、社会経済、歴史、文化人類学、物理、化学、生物、地学
文学部		国語、文学、仏教、言語、哲学、倫理、宗教、美学、歴史、考古学、心理学、社会学、地理学、科学哲学、大衆文化、メディア
教育学部		教育史、教育課程論、発達教育、教育心理学、認知心理学、臨床心理学、カウンセリング、メディア、教育評価、社会調査、文化政策、図書館情報、行財政、比較教育
法学部		基礎法学、公法、民刑事法、政治学
経済学部		ミクロ・マクロ経済学、社会経済学、経営学、会計学、情報処理、統計学、経済政策論、財政学、社会政策論、世界経済論、公共経済学、経済史・思想史
理学部		数学、物理学、宇宙物理学、地球物理学、地質学鉱物学、化学、動物学、植物学、生物物理学
医学部	医学科（6年制）	解剖学、生理学、病理学、分子・細胞、臓器の機能、チーム医療、法医学、公衆衛生、医療統計、研究者育成、医師資格
	人間健康科学科	家族、地域、長寿、少子高齢化、保健、福祉、障害、生命、移植医療、再生医療、遺伝子医療、医療理工学
薬学部		薬科学、医薬品、創薬、医療薬学、先端医療
工学部		土木、資源、環境、建築、機械システム、材料科学、エネルギー、原子核、宇宙、電気、電子、通信、情報、数理、コンピューター、工業化学
農学部		資源、植物、動物、生産環境、微生物、バイオテクノロジー、バイオマス、農業、地域環境経済、生態系、地球環境、森林、食品

講義言語

英語による学位取得コース（P.11-16参照）を除いて、授業や試験は通常日本語で行われます。特に、学士課程、修士課程、専門職学位課程の入学希望者は、入学時に十分な日本語能力を備えている必要があります。

また、**本学には日本語だけを学ぶための日本語学科はありません。**日本語を勉強してから入学することが望ましいです。

学位の授与

本学に4年以上または6年以上在学し、定められた授業科目および単位数を修得し、卒業の審査に合格した者には、学士の学位が授与されます。

修業年限は、医学部医学科・薬学部薬学科が6年、その他の学部・学科は4年です。

出願資格概要

出願者は、各学部が設定した出願資格に該当しなければなりません。また、出願書類を提出する前に、出願資格の審査が必要になる場合があります。詳細は、各学部の募集要項を確認してください。下記は主な出願資格です。

- 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者。
(2022年3月31日までに修了見込みの者を含む)。
- 文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格を有する者等）。

選抜方法等

原則として日本人と同じ選抜方法（一般選抜等）により入学者を決定していますが、薬学部・工学部については、私費外国人留学生特別選抜試験を実施しています。入学の時期は4月です。

● 私費外国人留学生特別選抜試験

薬学部・工学部で実施しています。この試験を受験するためには、JASSO（日本学生支援機構）が実施するEJU（日本留学試験）に加え、TOEFL、各学部が設定する出願資格、学力試験、面接試験等の基準を満たさなければなりません。また、出願書類を提出する前に、出願資格の審査があります。下記の表は2021 - 2022学年暦の入試に関する日程です。日程は変更の可能性があります。詳細は、各学部の募集要項を確認してください。不明な点などがある場合は、当該の学部事務室に問い合わせてください。

学部	募集要項（日本語のみ）		出願資格審査書類の提出時期	出 願 時 期	入 試 時 期	入 学 時 期
	配付予定時期	Website				
薬学部	3月	https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/	9月中旬	11月中旬	12月中旬	4月
工学部	7月	https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja	10月下旬	1月上旬	2月下旬	

● 外国学校出身者のための選考

法学部、経済学部で実施しています。詳細は当該学部の募集要項を確認してください。

- 法 学 部 : <https://u.kyoto-u.jp/sc25u>
- 経済学部 : <https://u.kyoto-u.jp/-algr>

● Kyoto University International Undergraduate Program (Kyoto iUP)

Kyoto iUPは、6ヶ月の予備教育と4年の学士課程からなる4.5年のプログラムであり、受入段階での日本語能力は不問です。プログラム開始後の充実した日本語教育と、1・2年次の英語（または日本語）による教養・共通教育を経て、概ね3年次以降から、各自の選んだ専門分野を日本語で学び、卒業時には学士の学位を得ることができます。

- Kyoto iUP: <https://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>

● 一般選抜

一般入学試験では以下の二つの試験を受験しなければなりません。

- ① 大学入試センターの実施する「大学入学共通テスト」
 - ・ 例年1月に実施されます。詳細は、大学入試センターへ照会してください。(http://www.dnc.ac.jp/)
- ② 入学を希望する学部が実施する個別学力検査
 - ・ 例年、出願期間は1月下旬、試験は2月下旬に実施されます。詳細は、京都大学入試企画課に確認してください。
(E-mail: nyushi1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

● 第3年次編入学試験

教育学部、経済学部で実施しています。詳細は、当該学部の募集要項を確認してください。

● 学士入学試験

文学部、医学部人間健康科学科は、大学を卒業した者および卒業見込みの者を対象に、総合人間学部、理学部、工学部は京都大学を卒業した者および卒業見込みの者を対象に実施しています。詳細は当該学部の募集要項をご覧ください。

修士課程・博士課程・専門職学位課程【正規生】

私費留学生として京都大学の修士課程、博士課程、または専門職学位課程へ入学するための資格や出願等は、各研究科等により異なります。まず入学を志望する研究科等の Web ページで情報を確認し、不明な点があれば当該事務室（P.27-28 参照）へ問い合わせてください。

＊研究生や交換留学生等の非正規生として入学を希望する場合は、P.17-18 を参照。

＊英語による学位取得コースは、P.11-16 を参照。

＊日本政府（文部科学省）奨学金留学生として入学を希望する場合は、P.19-20 を参照。

コースや指導教員を探す方法、募集要項等、大学院進学に必要な情報は、以下の Web サイトを参照してください。

■ Graduate Admission Guide for International Applicants:

<https://www.kyoto-u.ac.jp/en/education-campus/education-and-admissions/intl-admissions>

大学院等一覧 https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/faculties-and-graduate		
研究科等	学位課程	専攻
文学研究科	修士課程、博士後期課程	文献文化学、思想文化学、歴史文化学、行動文化学、現代文化学、京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境（修士課程のみ）
教育学研究科	修士課程、博士後期課程	教育学環
法学研究科	修士課程、博士後期課程	法政理論
	専門職学位課程	法曹養成（法科大学院）
経済学研究科	修士課程、博士後期課程	経済学、京都大学国際連携グローバル経済・地域創造（修士課程のみ）
理学研究科	修士課程、博士後期課程	数学・数理解析、物理学・宇宙物理学、地球惑星科学、化学、生物科学
医学研究科	博士課程（4年制）	医学、京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携
	修士課程、博士後期課程	医科学
	専門職学位課程、博士後期課程	社会健康医学系
	修士課程、博士後期課程	人間健康科学系
薬学研究科	博士課程（4年制）	薬学
	修士課程、博士後期課程	薬科学、創発医薬科学
	一貫制博士課程（5年制）	
工学研究科	修士課程、博士後期課程	社会基盤工学、都市社会工学、都市環境工学、建築学、機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学、原子核工学、材料工学、電気工学、電子工学、材料化学、物質エネルギー化学、分子工学、高分子化学、合成・生物化学、化学工学
農学研究科	修士課程、博士後期課程	農学、森林科学、応用生命科学、応用生物科学、地域環境科学、生物資源経済学、食品生物科学
人間・環境学研究科	修士課程、博士後期課程	共生人間学、共生文明学、相関環境学
エネルギー科学研究科	修士課程、博士後期課程	エネルギー社会・環境科学、エネルギー基礎科学、エネルギー変換科学、エネルギー応用科学
アジア・アフリカ地域研究研究科	一貫制博士課程（5年制）	東南アジア地域研究、アフリカ地域研究、グローバル地域研究
情報学研究科	修士課程、博士後期課程	知能情報学、社会情報学、先端数理科学、数理工学、システム科学、通信情報システム
生命科学研究科	修士課程、博士後期課程	統合生命科学、高次生命科学
総合生存学館（思修館）	一貫制博士課程（5年制）	総合生存学
地球環境学舎	博士後期課程	地球環境学
	修士課程、博士後期課程	環境マネジメント
公共政策大学院	専門職学位課程	公共政策
経営管理大学院	専門職学位課程	経営管理
	博士後期課程	経営科学

講義言語

英語による学位取得コースを除いて、授業や試験は通常日本語で行われます。特に、学士課程、修士課程、専門職学位課程への入学希望者は、入学時に十分な日本語能力を備えている必要があります。

京都大学には、日本語だけを学ぶための日本語学科はありません。

学位の授与

・修士課程

修士課程に2年以上在学し、研究指導を受け、定められた授業科目および単位数を修得するとともに、修士論文の審査および試験に合格した者に対し、修士の学位が授与されます。

・専門職学位課程（法科大学院を除く）

専門職学位課程に2年以上在学し、定められた授業科目および単位数を修得した者に対し、修士（専門職）の学位が授与されます。

・専門職学位課程（法科大学院）

専門職学位課程に3年以上在学し、定められた単位数を修得した者に対し、法務博士（専門職）の学位が授与されます。

・博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学し、研究指導を受け、定められた授業科目および単位数を修得するとともに、博士論文の審査および試験に合格した者に対し、博士の学位が授与されます。

・医学研究科医学専攻、京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻、および薬学研究科薬学専攻の4年制博士課程

博士課程に4年以上在学し、定められた授業科目および単位数を修得するとともに、研究指導を受け、博士論文の審査に合格した者に対し、博士の学位が授与されます。

・アジア・アフリカ地域研究研究科、総合生存学館（思修館）および薬学研究科5年一貫制博士課程

一貫制博士課程に5年以上在学し、定められた授業科目および単位数を修得するとともに、研究指導を受け、博士論文の審査および試験に合格した者に対し、博士の学位が授与されます。

出願資格

出願者は、各研究科等により設定された出願資格に該当しなければなりません。出願書類を提出する前に、出願資格の審査が必要になる場合があります。また、外国（日本を除く全世界）の大学を卒業または卒業予定で、京都大学に研究生または大学院生として入学を希望する者は、希望する研究科等の募集要項等を確認してAAO手続きが必要であれば、出願手続きの前にAAO申請が必要です。不明な点などがある場合は、入学を希望する研究科等事務室（P.27-28参照）へ問い合わせてください。※AAO（Admissions Assistance Office＝アドミッション支援オフィス）は、出願手続きをより円滑に行うことを目的として設置された部署です。

■ AAO申請:<https://u.kyoto-u.jp/graduate-admissions-aao>

以下は、出願資格からの主な抜粋です。

1. 修士課程、専門職学位課程、アジア・アフリカ地域研究研究科、総合生存学館（思修館）および薬学研究科5年一貫制博士課程

- ・日本において、大学を卒業した者
- ・外国において、学校教育における16年の課程を修了した者*
- ・当該研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

2. 博士後期課程

- ・日本において、修士の学位または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を取得した者
- ・外国において、本学研究科の修士課程、または専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- ・当該研究科が修士の学位または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

3. 医学研究科医学専攻、京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻、および薬学研究科薬学専攻の4年制博士課程

- ・日本において、大学における修業年限が6年の課程（医学、歯学、薬学または獣医学を履修する課程に限る）を卒業した者
- ・外国において、学校教育における18年の課程を修了した者*
- ・当該研究科が大学（医学、歯学、薬学または獣医学を履修する修業年限が6年の課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

* 外国の学校教育における16年（4年制博士課程の場合は18年）に満たない課程を修了した者でも、一定の要件を満たした場合に は出願することが可能です。詳細は、研究科等のWebサイトに掲載されている募集要項などで確認してください。不明な点などがある場合は、入学を希望する研究科等事務室へ問い合わせてください。

選抜方法等

大学院の入学者選考試験は、研究科毎に出願時期や試験日程等が異なります。選考試験は、おおむね専門科目・外国語科目および口述試験により実施されます。入学の時期は4月ですが、一部の研究科では10月入学も実施しています。詳細は、研究科等のWebサイトに掲載されている募集要項などで確認してください。不明な点などがある場合は、入学を希望する研究科等事務室（P.27-28参照）へ問い合わせてください。

■ 大学院一覧：<https://u.kyoto-u.jp/dsfl0>

■ 英語で学位を取得するコース：<https://u.kyoto-u.jp/j-hd1>

大学院入学試験募集要項について

募集要項は主に各研究科のWebサイトに掲載されます。以下の表に掲載予定時期が2ヶ月以上併記されている箇所は、一次及び二次募集の募集要項の掲載予定時期を示します。日程は変更になる可能性があるため、必ず各研究科のWebサイトで最新情報を確認してください。英語で学位を取得するコースについては、P.11を参照してください。不明な点などがある場合は、入学を希望する研究科等事務室（P.27-28参照）へ問い合わせてください。

■ 大学院募集要項（外国人留学生特別入試を含む）：<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/grad/graduate>

外国の大学を卒業または卒業予定で、京都大学に研究生または大学院生として入学を希望する志願者は、出願手続きの前にAAO（アドミッション支援オフィス＝Admissions Assistance Office）での照会手续が必要とされる場合があります。詳細については、以下のWebサイトを参照してください。

■ 「外国の大学を卒業した方への入学案内」<https://u.kyoto-u.jp/graduate-admissions-aa>

修士課程の募集要項掲載予定時期（目安）

（2021年12月現在）

研究科等	4月入学		10月入学		Website
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	一般選抜	外国人留学生特別選抜	
文学研究科	5月・10月 ^{*1}	—	—	—	www.bun.kyoto-u.ac.jp/
教育学研究科	6月 ^{*2}	6月	—	—	www.educ.kyoto-u.ac.jp/
法学研究科 （法政理論専攻）	5月	6月	—	—	law.kyoto-u.ac.jp/
経済学研究科	6月	—	9月	—	www.econ.kyoto-u.ac.jp/
理学研究科	5月	—	5月 ^{*3}	—	www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/
医学研究科 （医科学専攻）	5月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
医学研究科 （人間健康科学系専攻）	5月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
薬学研究科	5月	10月	—	6月	www.pharm.kyoto-u.ac.jp/
工学研究科	4月 ^{*4}	11月 ^{*4}	—	11月 ^{*7}	www.t.kyoto-u.ac.jp/ja
農学研究科	6月	11月	—	—	www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/
人間・環境学研究科	5月・11月	—	—	—	www.h.kyoto-u.ac.jp/
エネルギー科学研究科	4月	10月	—	—	www.energy.kyoto-u.ac.jp/jp
情報学研究科	5月・10-11月 ^{*5}	11月 ^{*6}	5月・10-11月	11月 ^{*6}	www.i.kyoto-u.ac.jp/
生命科学研究科	4月	—	—	—	www.lif.kyoto-u.ac.jp/j/
地球環境学舎	4月・10月 ^{*8}	3月・9月	—	3月・9月	www2.ges.kyoto-u.ac.jp/

^{*1} 5月に配布予定の学生募集要項は夏期入学試験のためのものです。全ての専攻の冬期入学試験のための学生募集要項は10月に配布予定です。

^{*2} 日程はプログラムにより異なります。詳細は事務室へ問い合わせてください。

^{*3} 各学生募集要項は4月・10月入学共通です。

^{*4} ホームページへの掲載のみ（Web出願）。

^{*5} 一次（夏期）入学試験に加えて二次（冬期）入学試験を実施する場合は、先端数理科学専攻は10月に、その他の専攻は11月に該当選抜の募集要項を配布する予定です。

^{*6} 4月入学は通信情報システム専攻、10月入学はシステム科学専攻と通信情報システム専攻のみ。

^{*7} 詳細は事務室へ問い合わせてください。

^{*8} 10月に掲載予定の募集要項は冬期入学試験のためのものですが、実施されない場合があります。詳細は地球環境学舎ホームページをご確認ください。

博士後期課程の募集要項掲載予定時期（目安）					（2021年12月現在）
研究科等	4月入学		10月入学		Website
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	一般選抜	外国人留学生特別選抜	
文学研究科	10月	—	—	—	www.bun.kyoto-u.ac.jp/
教育学研究科	6月	6月	—	—	www.educ.kyoto-u.ac.jp/
法学研究科 （法政理論専攻）	10月	6月	—	—	law.kyoto-u.ac.jp/
経済学研究科	10月	—	—	2月	www.econ.kyoto-u.ac.jp/
理学研究科	11月	—	5月	—	www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/
医学研究科 （医科学専攻）	11月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
医学研究科 （社会健康医学系専攻）	7月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
医学研究科 （人間健康科学系専攻）	5月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
薬学研究科	9月	9月	6月	6月	www.pharm.kyoto-u.ac.jp/
工学研究科	4月・11月 ^{*1}	—	4月 ^{*1}	11月 ^{*1,2}	www.t.kyoto-u.ac.jp/ja
農学研究科	11月	11月	—	—	www.kais.kyoto-u.ac.jp/ japanese/
人間・環境学研究科	11月	—	—	—	www.energy.kyoto-u.ac.jp/jp
エネルギー科学研究科	4月・10月	4月・10月	4月	4月	www.energy.kyoto-u.ac.jp/jp
情報学研究科	5月・11月 ^{*3}	5月・11月 ^{*3}	5月・11月 ^{*3}	5月・11月 ^{*3}	www.i.kyoto-u.ac.jp/
生命科学研究科	12月	—	—	—	www.lif.kyoto-u.ac.jp/
地球環境学舎	4月・10月 ^{*5}	3月・9月	4月	3月・9月	www2.ges.kyoto-u.ac.jp/
経営管理大学院	6月	—	—	—	www.gsm.kyoto-u.ac.jp/ ^{*4}

*1 ホームページへの掲載のみ（Web出願）。

*2 詳細は事務室へ問い合わせてください。

*3 二次（冬期）募集を実施する場合は、11月に該当選抜の募集要項を配布する予定です。

*4 日本語コースのみです。必要な日本語能力については募集要項を参照してください。

*5 10月に掲載予定の募集要項は冬期入学試験のためのものですが、実施されない場合があります。詳細は地球環境学舎ホームページをご確認ください。

博士課程の募集要項掲載予定時期（目安）					(2021年12月現在)	
研究科等	4月入学			10月入学		Website
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	第3年次編入学	一般選抜	外国人留学生特別選抜	
医学研究科 (4年制医学専攻及びゲノム医学国際連携専攻)	8月	—	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
薬学研究科 (4年制薬学専攻・5年一貫制創薬医薬科学専攻)	5月	—	—	—	—	www.pharm.kyoto-u.ac.jp/
アジア・アフリカ地域研究研究科 (5年一貫制)	4月*1	—	10月	—	*2	www.asafas.kyoto-u.ac.jp/
総合生存学館（思修館） (5年一貫制)	4月	4月	—	—	—	www.gsais.kyoto-u.ac.jp/

*1 アフリカ地域研究専攻の第2回（冬期）入試学生募集要項を含みます。

*2 第3年次編入学を希望する国費留学生のみが対象です。事務室へ問い合わせてください。

専門職学位課程の募集要項掲載予定時期（目安）					（2021年12月現在）
研究科等	4月入学		10月入学		Website
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	一般選抜	外国人留学生特別選抜	
法科大学院	5月	—	—	—	lawschool.law.kyoto-u.ac.jp/
医学研究科 （社会健康医学系専攻）	5月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
公共政策大学院	6月	6月	—	—	www.sg.kyoto-u.ac.jp/sg/
経営管理大学院	6月	—	—	—	www.gsm.kyoto-u.ac.jp/ ^{*1}

*1 日本語コースのみです。必要な日本語能力については募集要項を参照してください。英語コースについては、P.11～16を参照してください。

English-Taught Degree Programs

Kyoto University offers a wide range of degree programs for international students, including the ones listed below, which are conducted entirely in English. Entrance examinations, evaluation reports, and support are provided in English as well, so that students with no Japanese language ability can study for degrees while taking advantage of the University's world-class research facilities and education. Further details are available on each program webpage.

Applicants who have graduated or expect to graduate from universities outside of Japan are required to contact the Admissions Assistance Office (AAO) for a preliminary review before applying for a graduate school. The application process for each graduate school differs, and may or may not include a preliminary AAO review (the "AAO process"). Applicants are advised to visit the website of each program for application guidelines. For details on AAO, please refer to the following website

■ **"Admissions guide for graduates of overseas universities":**

<https://u.kyoto-u.jp/graduate-admissions-for-overseas-graduates>

The Schedule is subject to change.

Faculty Graduate School	Ref. No.	Program	Degree	Enrollment	Student Intake	Application Guidelines Publication Date	Entrance Exam Venue
Economics	1	International Graduate Programme for East Asia Sustainable Economic Development Studies	Master Doctor	Oct.	10 5	Sep. Feb.	see ^{*1}
	2	International Joint Master Degree Program in Global Markets, Local Creativities	Master	Sep.	8	Sep.	see ^{*3}
Engineering	3	Undergraduate International Course Program of Civil Engineering	Bachelor		30		see ^{*1}
	4	International Course in Management of Civil Infrastructure in the Department of Civil and Earth Resources Engineering	Master	Apr.	12	Jan.	Kyoto University
	5	International Course in Urban and Regional Development in the Department of Urban Management	Master				
	6	Integrated Engineering Course, Human Security Engineering Field	Master Doctor	Apr. Oct.	20 20	May. Nov.	see ^{*1}
Agriculture	7	Special Course in Agricultural Sciences — For the Global Future of Life, Food and the Environment	Master Doctor	Apr. Oct.	5 5	Jun. (Apr. Enrollement) Dec. (Oct. Enrollement)	see ^{*1}
Energy Science	8	International Energy Science Course	Master Doctor	Oct. Apr. Oct.	10 10	Mar.	see ^{*1}
Informatics	9	International Course in Intelligence Science and Technology	Master Doctor	Apr. Oct.	Small number	May. Nov.	Kyoto University
	10	International Course in Social Informatics	Master Doctor	Apr. Oct.	Small number Small number	May. Nov. Feb.	see ^{*1}
Medicine	11	International Course in Communications and Computer Engineering	Master Doctor	Apr. Oct.	Small number	May. Nov.	Kyoto University
Biostudies	12	Global Frontier in Life Science	Master		Small number	May	Kyoto University
		Global Frontier in Life Science (Medicine: 4-year Doctor)	Doctor	Apr.	Small number	Aug.	
		Global Frontier in Life Science (Medical Science)	Doctor		Small number	Nov.	
Global Environmental Studies	13	International Environmental Management Program (IEMP)	Master Doctor	Apr. Oct.	A limited number A limited number	Twice a year	see ^{*1}
Science (Primate Research Institute)	14	International Course for Primatology and Wildlife Research	Master Doctor	Apr. Oct.	5 5	Aug.	Kyoto University see ^{*1}
Management	15	International Project Management Program (i-PM)	MBA		10	May	see ^{*2}
	16	International Business Administration Program (i-BA)	MBA	Apr.	10		
	17	Kyoto-Cornell International Collaborative Degree Opportunity (KC-CDO)	MBA/MMH		20	TBA	

^{*1} The entrance examinations are held at Kyoto University or at the applicant's home institution. Further details can be found by visiting the program website or contacting the office in charge.

^{*2} Applicants are selected by means of a comprehensive evaluation of application documents.

^{*3} Application is made via the official GLOCAL website. For further details, please visit and check the program website.

01 International Graduate Programme for East Asia Sustainable Economic Development Studies

Enrollment: October
Student Intake: Master: 12, Doctor: 5
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/kueac/>

Programme Description:

There are a number of challenges that East Asia must address if it is to maintain its economic role as one of the leaders of the world.

These include challenges relating to environmental stability, food and energy supplies, uneven development between agricultural and industrial sectors, widening income disparities and aging populations, and accountability of government and business sectors.

This programme is designed to provide international students with both advanced academic knowledge and practical skills. Our academic year begins in October. Students are from a variety of countries including China, South Korea, Indonesia, Thailand, Malaysia, Philippines, Viet Nam, Uzbekistan, France, Germany, Italy, Turkey, Egypt, UK, Belgium, Spain, USA, Mexico and Japan. The programme is offered in English, and Japanese language skills are not required at the time of admission. The Master's programme offers both basic and advanced courses through which students can enjoy a comprehensive curriculum.

The Doctoral programme offers Overseas Field Research and International Graduate Student Workshop subjects through which students further develop a deep understanding of the current issues in East Asia.

In addition to classes designed specifically for this programme, students will participate in selected courses at the Graduate School of Economics as well as other graduate schools. Students will develop academic knowledge and practical skills in international setting.

We offer many opportunities to conduct field research at diverse sites such as large manufacturing plants and small factories, cutting-edge businesses and rural farming communities throughout East Asia so that students can develop a multidisciplinary and critical sense of reality. These are all needed to contribute to sustainable development in East Asia as academic researchers, government officials, or social entrepreneurs.

02 International Joint Master Degree Program in Global Markets, Local Creativities

Enrollment: September
Student Intake: 8
Degree: Master's Degree
Website: <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/en/glocal/>

Programme Description:

The Graduate School of Economics, Kyoto University launched a new graduate program, "International Joint Master Degree Program in Global Markets, Local Creativities," in September 2021. This is a two-year master's degree program in which students study at the University of Glasgow (UK) for 6 months, at the University of Barcelona (Spain) for 6 months, and at Kyoto University (Japan) for 12 months. All classes are offered in English. Upon completion of the jointly established degree program, graduates will receive a single joint degree conferred by the three universities. The joint degree program is one of several "study tracks" on an integrated international program called "GLOCAL" which is comprised of a seven-university consortium. The GLOCAL program aims to provide students with interdisciplinary and international academic training and practical skills through the complementary and interdisciplinary expertise, resources and networks of seven leading universities in seven innovative cities.

03 Undergraduate International Course Program of Civil Engineering

Enrollment: April
Student Intake: 30
Degree: Bachelor's Degree
Website: <https://www.s-ge.t.kyoto-u.ac.jp/int/en>
E-mail: icp_ug@t.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This four-year international course leads to a Bachelor of Engineering degree from the Undergraduate School of Civil, Environmental and Resources Engineering.

The course aims to cultivate human resources capable of designing and managing civil infrastructures while considering global environmental issues around urban and regional areas, particularly in Asian and African countries.

In the first and second years, students are required to take courses in fundamental mathematics, physics and liberal arts. Scientific English and basic Japanese lectures are also available. From the second year, specialized civil engineering lectures are given, including those on environmental engineering and earth resources, and energy science. For the first three years, all lectures are given at Yoshida Campus. In the fourth (final) year, students with sufficient credits may join a research group and relocate to Katsura or Uji Campus. Each student will undertake research for their bachelor thesis at their designated laboratory. The thesis is presented and examined in February of the final year, in order to graduate in March. Related courses: master's courses in the Management of Civil Infrastructure, and Urban and Regional Development in addition to a doctoral course in Human Security Engineering.

04 International Course in Management of Civil Infrastructure in the Department of Civil and Earth Resources Engineering

Enrollment: April

Student Intake: 12 (combined capacity with the International Course in Urban and Regional Development in the Department of Urban Management)

Degree: Master's Degree

Website: <https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/mci/en/>

E-mail: icp_master@t.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This is a two-year program leading to a Master of Engineering degree. This course aims to cultivate human resources capable of managing civil infrastructures and addressing environmental issues. Several issues are in focus, such as; achieving a stable supply of natural resources and harmonize human activities with the global environment; the development of fundamental key technologies that support public infrastructure and energy development; the creation and development of new versatile technologies and design methods concerning the construction, improvement, operation, and maintenance of public infrastructure and disaster mitigation measures, as well as technologies related to the exploration, development, and utilization of the natural environment, natural resources and energy. Such issues are approached by the framework of applied mechanics and computational mechanics with the integration of theoretical and experimental works.

05 International Course in Urban and Regional Development in the Department of Urban Management

Enrollment: April

Student Intake: 12 (combined capacity with the International Course in Management of Civil Infrastructure in the Department of Civil and Earth Resources Engineering)

Degree: Master's Degree

Website: <https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/urd/en/>

E-mail: icp_master@t.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This is a two-year program leading to a Master of Engineering degree. The department aims to make advances in social analysis technology utilizing urban engineering, traffic engineering, and environmental system engineering to analyze human activities in cities.

Research is conducted in urban planning and traffic planning to realize safe and sustainable urban systems. Advances in urban infrastructure relating to building foundations and rivers are examined. The department is working to establish methodologies and engineering techniques for the comprehensive management of urban systems, incorporating assessments of the sustainability of cities based on cutting-edge research and an interdisciplinary perspective that embraces the social sciences and humanities. Advanced information communication technology is integrated with social infrastructure technology in order to realize sustainable, safe, and internationally competitive urban systems that can ensure a high quality of life. Lectures and seminar-based subjects are designed for students to independently plan, implement, summarize and present research results from project surveys and company seminars.

06 Integrated Engineering Course, Human Security Engineering Field

Enrollment: April/October

Student Intake: Master: 20, Doctor:20

Degree: Master's and Doctoral Degree

Website: <http://hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp/>

E-mail: contact@hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This is a master and doctoral program with a solid interdisciplinary education in the core fields and the four related fields: urban governance, urban infrastructure management, health risk management, and disaster risk management. Studies on these related topics will foster researchers and engineers who have the ability to integrate and apply their knowledge toward ensuring urban human security, while contributing to advances. We aim to instill the following qualities in our academics: creativity (to go beyond the boundaries of the existing specialized fields); internationality (the ability to present and debate research in English, perform education and research activities overseas, and build an international human network); and independence (the ability to plan research, lead education and research, secure research funds, and solve problems in the field). The availability of core content in English and overseas internships for training in the field help students achieve these program objectives. Students who proceed to the Integrated Course in Human Security Engineering must complete the completion requirements of that course, rather than those of the department in which they are enrolled. Upon completion of the course, they will be certified as a graduate of the Human Security Engineering Education Program and receive a program certificate in addition to their degree certificate.

07 Special Course in Agricultural Sciences — For the Global Future of Life, Food and the Environment

Enrollment: April/October

Student Intake: Master: 5, Doctor: 5

Degree: Master's Degree, Doctoral Degree

Website: <http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/english/global30/>

E-mail: agrig30@adm.kais.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This course aims to develop the next generation of human resources with advanced research abilities, profound knowledge and an international perspective in the fields of life, food and the environment. Master's and doctoral students in this course can study a diverse range of agricultural, life and environmental sciences: Agronomy and Horticultural Science, Forest and Biomaterials Science, Applied Life Sciences, Applied Biosciences, Environmental Science and Technology, Natural Resource Economics, and Food Science and Biotechnology. We will examine the social effects of agriculture, such as the results of adopting various farming approaches. Each student will benefit by having several supervisors for their research guidance. The curriculum offers courses in the fields of natural and environmental sciences, geography, economics and information systems. Lectures are given by international teaching staff. Seminars and experimental courses are given by the course supervisors.

08 International Energy Science Course

Enrollment: Master's-October, Doctoral-October/April
Student Intake: Master: 10, Doctor:10
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: intl@energy.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The International Energy Science Course (IESC) Master's Program teaches students about energy systems from a broad, crossdisciplinary perspective, along with in-depth understanding of their own major. Teaching in each major takes place within the three departments of the Graduate School of Energy Science. All students must complete course work and research equating to 30 credits, and successfully defend their Master's thesis (15 thesis credits). The IESC doctoral program provides the international students and researchers who have a Master's degree (or equivalent) an opportunity to further their studies toward a doctoral degree at Kyoto University.

Major available within the course will fall broadly within one of four departments: Socio-Environmental Energy Science (SES), Fundamental Energy Science (FES), Energy Conversion Science (ECS), and Department of Energy Science and Technology (EST) ^{*1}.

SES leads the research on the effective use of energy and resources and analysis of energy systems in order to build a sustainable social system within the global environment, while FES offers graduate students fundamental science education and conduct research to contribute to cleaner energy solutions. ECS conducts research and education in generation, conversion, control and utilization of various kinds of energy in focus on efficient and clean energy. EST conducts education and research on the development of more efficient utilization of direct and indirect energy supplies based on disciplines such as resources, metallurgical, mechanical and electrical engineering.

^{*1} IESC of EST is available only for DOCTORAL programs.

09 International Course in Intelligence Science and Technology

Enrollment: April/October
Student Intake: a small number of students
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www.i.kyoto-u.ac.jp/en/introduction/g30.html>
E-mail: kyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This course focuses on clarifying the mechanisms of information processing and applying that expertise to the development of versatile high-level applications. We study not only how computer systems achieve and transcend human cognitive ability in vision, auditory, language understanding, but also the psychology, brain science, and biological information. The curriculum offers a wide range of topics covering mathematics and information science, including discrete algorithm, intelligent algorithm, statistics, machine learning, pattern recognition, cognitive science, biological information, etc. These theories are explored as students investigate how technologies are applied to an application-oriented research project. In our department, we work with algorithmic principles; make use of state-of-the-art technologies; and inspire students to take their knowledge and imagination into new studies.

10 International Course in Social Informatics

Enrollment: April/October
Student Intake: a small number of students
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www.i.kyoto-u.ac.jp/en/introduction/g30.html>
E-mail: kyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This course assumes that the information is the most important concept in society and that its proper management helps to answer societal needs and problems, which, nowadays, are subject to rapid changes as technological advances are made. Our department provides opportunities to study ICT technologies and social information systems in the areas of information management, multi-agent systems and system dynamics. In the area of information management the following content will be explored: databases, information retrieval, web information management, distributed information systems, information organization and retrieval, information systems design for object-oriented design/analysis and programming, database design, user interface design, web information systems design, and information systems analysis including data mining. In the area of multi-agent systems, students delve into business processes and services computing. In the area of content, students learn system dynamics, environmental issues, GIS, field research and statistics.

Biosphere informatics and information system analysis will be also taught. In the area of social informatics, topics will include information security, information economy, digital rights, digital ethics and IT policy and agenda.

11 International Course in Communications and Computer Engineering

Enrollment: April/October
Student Intake: a small number of students
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www.i.kyoto-u.ac.jp/en/introduction/g30.html>
E-mail: jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The focus of this course lies in the theoretical aspects of modern information technologies, principally, the design and analysis of algorithms, computational complexity, and discrete mathematics related to computer science.

Two introductory graduate classes are provided, neither of which is designed solely for international students. *Introduction to Algorithms and Informatics* is an introductory class for non-specialists. Lectures cover various aspects of modern computer science, particularly the fundamentals of algorithm design and analysis, data structures, and important concepts such as linear programming, randomization, heuristics and approximation. *Theory of Computational Complexity* is an introduction to the field of computational complexity, which aims at classifying computational problems according to their difficulty by investigating the amount of resources needed to solve them.

The class covers both the foundations of computational complexity and more advanced topics such as hardness of approximation and communication complexity. For both classes no specific technical background is required. Other classes given in English are *System Verification*, *System-Level Design Methodology for SoCs*, and *Atmospheric Measurement Techniques*. Students can also take the general Perspectives in Informatics seminars, as well as classes in the other two international courses offered by the School of Informatics.

12 Global Frontier in Life Science

Enrollment: Graduate School of Biostudies: Master's - April/October, Doctor - April/October
Graduate School of Medicine: Master's - April, Doctor - April
Student Intake: Graduate School of Biostudies: Master's - 10, Doctor - 10
Graduate School of Medicine: Master's - Small Number, Doctor - Small Number
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: Graduate School of Biostudies: <https://www.lif.kyoto-u.ac.jp/e/>
Graduate School of Medicine: <https://www.med.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: Graduate School of Biostudies: 150kyomu@adm.lif.kyoto-u.ac.jp
Graduate School of Medicine: kyomu-in@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The Graduate Schools of Biostudies and Medicine offer a joint three-year Doctoral Program. This program aims to educate worldclass scientists in the fields of life and medical sciences to contribute to the advancement of basic science and human welfare. The Graduate School of Medicine also offers a four-year Doctoral Degree of Medical Science. These two graduate schools hold independent entrance examinations (to be announced on the respective websites above), and accept up to ten applicants. Related joint Master's programs are offered by the Graduate School of Medicine and by the Graduate School of Biostudies. These programs are open to both international and domestic students, and are held entirely in English, including the entrance examinations, lectures, experiments and discussions.

13 International Environmental Management Program (IEMP)

Enrollment: April/October
Student Intake: Master: A limited Number, Doctor: A limited Number
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <https://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: 160tikyukankyoumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Program Description:

The Graduate School of Global Environmental Studies (GSGES) has established the International Environmental Management Program (IEMP) to strengthen educational and research opportunities for international students. GSGES offers a Doctoral Program in Global Environmental Studies for students interested in pursuing environmental research and academic study, and Master's and Doctoral Programs in Environmental Management for students interested in applied environmental management from the local to global levels. Students who join in the International Program will be enrolled in one of these three degree programs.

GSGES features a multidisciplinary program, with faculty drawn from a variety of disciplines, including engineering, agriculture, economics, law and social sciences. It provides practical education on environmental issues through long-term internships, fieldwork and lecture, as well as discussion-based courses for thesis preparation.

14 International Course for Primatology and Wildlife Research

Enrollment: April/October
Student Intake: Master: 5, Doctor: 5
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www.cicasp.pri.kyoto-u.ac.jp/#>
E-mail: cicasp@ml.pri.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The Primate Research Institute (PRI) in Inuyama and the Wildlife Research Center (WRC) in Kyoto promote basic and applied research by synthesizing various approaches to enhance our understanding of all primates and other wildlife. A new international course for graduate students focusing on the study of non-human primates and other animals, with the aim of promoting their conservation, health and welfare, as well as advancing our understanding of human nature, started in April 2011. Students in this course will join either the PRI or WRC and receive courses conducted in English. The course will be managed by the Center for International Collaboration and Advanced Studies in Primatology (CICASP), which was founded in April 2009. The PRI presently has ca.40 faculty members, 50 graduate students and 20 international scholars, with international students now comprising over ca.30% of the student body. The institute is also home to ca.1200 non-human primates of 13 species. CICASP is staffed by international and Japanese faculty members and administrators who are fluent in English to facilitate student integration. In 2014, CICASP partnered with the newly created Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science (PWS) of Kyoto University. Students who enroll in CICASP and Kyoto University can apply to PWS and if successful receive additional training in the area of conservation science, public outreach and curation (e.g. at zoos, aquaria and museums), as well as financial support to conduct their research. Please contact us at the email address above for assistance in finding a suitable supervisor for the graduate course.

15 International Project Management Program (i-PM)

Enrollment: April
Student Intake: 10
Degree: Professional Master's (MBA)
Website: <https://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: keieikyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The International Project Management Program (i-PM) offers a comprehensive and thorough program that focuses on the projects of temporal cooperation between organizations (business teams) established in order to achieve a certain goal in projects. This program is to nurture international project management professionals who can combine the latest research in management and specialized business practices and who are ready to meet challenges and contribute to the diverse and harmonious development of society.

Students in the program shall obtain basic core competencies in economics, management and accounting and then, those will be combined with specialized and practical subjects such as policy evaluation, contract management, development management, project finance, risk management, disaster management, international mega project management, etc. as well as business writing and negotiation. Internship placements and workshops are available. Students of all nationalities are welcome. In the class taught in English, it is possible to stimulate each other by working together. This program will become a stronghold for internationalization in higher education and will help create leaders of the next generation in the world.

16 International Business Administration Program (i-BA)

Enrollment: April
Student Intake: 10
Degree: Professional Master's (MBA)
Website: <https://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: keieikyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The International Business Administration Program (i-BA) is a program of study that leads to a general management degree while helping you develop your vision and the skills to achieve it. Students get the business knowledge and specialized skills to expand career choices. This program provides wide area of expertise such as business leadership, service & hospitality management, finance and accounting.

17 Kyoto-Cornell International Collaborative Degree Opportunity (KC-CDO)

Enrollment: April
Student Intake: 20
Degree: Professional Master's Degree (MBA) (Kyoto), Master's Degree (MMH) (Cornell)
Website: <https://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: kc-cdo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The program offers a unique curriculum which is a combination of advanced management fundamentals and the core of service and hospitality specialized principle to nurture global professionals. Students will be awarded two Master's degrees in two years (Master of Business Administration and Master of Management in Hospitality) by attending the Kyoto University Graduate School of Management for two semesters and the Cornell SC Johnson College of Business, School of Hotel Administration for the other two semesters. This program endeavors the premier educational system that draws upon the state-of-the-art research in management and business practices to propel the students not only as a future leader in the hospitality industry but a specialist in the service sector of any organizations.

国際共同学位プログラム（ダブルディグリー・ジョイントディグリー）【正期生】

京都大学は、海外の教育機関と提携して、さまざまなダブルディグリーおよび共同学位プログラムを提供しています。詳細は、これらのプログラムを実施している京都大学大学院に連絡してください。

■ 国際共同学位プログラム協定校一覧：<https://u.kyoto-u.jp/xsl7c>

ダブルディグリー協定一覧（2021年4月現在）			
国・地域	協定校名	実施部局名	学位課程
中国	清華大学	地球環境学舎	修士
	浙江大学	エネルギー科学研究科	博士
フランス	フランス国立社会科学高等研究院（EHESS）	文学研究科	博士
	ボルドー大学	エネルギー科学研究科	博士
インドネシア	ボゴール農業大学	地球環境学舎 農学研究科	修士
	ガジャマダ大学	農学研究科	修士
	バンドン工科大学	農学研究科	修士
マレーシア	マラヤ大学	エネルギー科学研究科	修士
台湾	国立台湾大学	医学研究科（社会健康医学系専攻） 経営管理教育部 農学研究科	修士
タイ	チュラロンコン大学	医学研究科（社会健康医学系専攻） エネルギー科学研究科	修士
	カセサート大学	農学研究科	修士
	キングモンクット工科大学トンブリ校	エネルギー科学研究科	修士
	マヒドン大学	医学研究所（社会健康医学系専攻） 地球環境学舎 農学研究科	修士
イギリス	グラスゴー大学	経済学研究科	博士
アメリカ合衆国	コーネル大学	経営管理教育部	専門職
ドイツ	ハンブルク大学	経営管理教育部	専門職/修士

ジョイントディグリー協定一覧（2021年4月現在）			
国・地域	協定校名	実施部局名	学位課程
カナダ	マギル大学	医学研究科	博士
ドイツ	ハイデルベルク大学	文学研究科	修士
イギリス・スペイン	グラスゴー大学・バルセロナ大学	経済学研究科	修士

研究生【非正規生】

「研究生」とは、研究科や研究所等で特定の専門分野についての研究をすることができる制度です。大学院への進学を希望する留学生がまずは研究生として入学し、修士課程もしくは博士課程への進学に向けて、指導教員の下で専門分野の研究等についての理解を深めることもできます。研究生として入学するためには、まず、指導を希望する教員を本学のWebサイトから、「教育研究活動データベース（外部リンク）」等を利用して探し、その教員と連絡を取り、受入れの内諾を得る必要があります。その後、入学願書等の必要書類を取りそろえて申請することとなります。なお、研究生には学位等は与えられません。詳細は、研究を希望する研究科等の事務室（P.27-28参照）へ問い合わせてください。外国の大学を卒業し、研究生または大学院生として京都大学へ入学を希望する志願者は、研究生の申請をする前にAAO（Admissions Assistance Office）での照会手続きが必要です。詳しくは希望する研究科等のWebサイトを確認し、不明なことがあれば研究科等事務室（P.27-28参照）に問い合わせてください。

■ 研究生として入学するには：<https://u.kyoto-u.jp/jtw03>

交換留学生【非正規生】

京都大学交換留学プログラム概要

京都大学は、大学間学生交流協定を締結している海外の大学（協定校）から、以下の2種類のプログラムにより交換留学生を受入れています。いずれのプログラムも、1学期（6ヶ月）間又は2学期（12ヶ月）間、京都大学で学ぶことができます。毎年12月頃と6月頃に、各協定校に募集要項を送付します。出願は派遣元大学の事務局を通じて京都大学に提出します。学生個人による直接出願は認めません。出願の締切は、4月入学は前年の9月、10月入学は同じ年の2月です。

■ 交換留学：<https://u.kyoto-u.jp/f-ioq>

■ 大学間学生交流協定校一覧：<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/global-bridge/exchange/ryuga-c-link>

① 京都大学国際教育プログラム (KUINEP : Kyoto University International Education Program)

海外の協定校の学部生が、国際高等教育院が英語で提供する全学共通科目を中心に履修するプログラムです。1学期につき7科目以上履修しなければなりません。7科目のうち、日本語学習科目を2科目まで含むことができます。また、各学部が提供する専門科目を履修することも可能です。各科目は通常、週に2時間の講義時間で構成され、1科目は2単位です。

■ KUINEP概要 : <https://u.kyoto-u.jp/2o3e0>

② 京都大学一般交換プログラム (特別聴講学生または特別研究学生)

学部もしくは大学院が提供する科目を履修する〔特別聴講学生〕、または、科目履修をせず教員の指導の下で専門的研究のみを行う〔特別研究学生〕プログラムです。特別聴講学生の学部生は、7科目 (うち、日本語学習科目を2科目まで含むことができます)、大学院生は4科目 (日本語学習科目を含まない) を学期ごとに履修しなければなりません。学部・大学院が提供する科目の多くは日本語で講義されるため、日本語能力が必要とされる場合が多いです。英語で講義される科目のみを受ける場合は、英語能力さえあれば問題ありません。特別研究学生については、他言語で指導できる教員がいれば日本語能力は不要です。特別研究学生になることができるのは大学院生のみです。

■ 京都大学一般交換プログラム : <https://u.kyoto-u.jp/e5pi3>

日本語学習科目

上記①②いずれのプログラムの参加者も、京都大学国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターが提供する科目を受けて日本語を学ぶことができます。正規の全学共通科目として単位が付与されるものと正規の教育課程外にあり単位が付与されないものがあり、KUINEP生、特別聴講学生はいずれの受講も可能ですが、特別研究学生は正規の教育課程外にあり単位が付与されないものしか受けられません。単位が付与される科目の成績は他の科目の成績と同様に成績証明書に記載されます。詳細は、P.23の「日本語教育」を参照してください。

■ 日本語・日本文化教育センターが提供する日本語教育について : <https://u.kyoto-u.jp/8bvf7>

奨学金付き夏期研究プログラム (理系学部生対象) 【非正規生】 京都大学アムジェン・スカラーズ・プログラム

2015年から開始した奨学金付ショートサマープログラムです。日本を含む世界中の学部生を対象としており、学術研究に携わる日本有数の科学者をはじめとした京都大学の教員の指導のもとで研究を行います。なお、以下の情報は2019年の募集時のものです。詳細は毎年更新されますので、京都大学「Amgen Scholars Program」のWebサイトに最新情報を確認してください。

プログラム概要

- ◆ 実施期間 : 8週間 (2020年は6月9日～8月8日)
- ◆ 参加人数 : 15名
- ◆ 応募時期 : 例年11月からオンライン申請開始
- ◆ 応募資格 : (次の要件をすべて満たす学生) :
 - 学士号 (またはそれと同等の学位) を取得できる世界各国の大学に所属する学部学生であること
 - サマープログラム開始までに学部1年生を終了していること
 - サマープログラム開始までに学士課程を修了しておらず、また、このプログラム終了後に引き続き学士課程を1セメスターもしくは1クォーター履修する予定である者
 - 成績優秀であること
 - 次のいずれかの英語能力要件を満たしていること : TOEFL (iBT) 72以上、IELTSオーバーオール・バンド・スコア5.5以上、Cambridge English FCE以上、TOEIC1095以上、TOEIC L&R 785以上、またはTOEIC S&W 310以上
 - 博士課程進学に興味がある者
- ◆ 支援内容 : プログラム参加のため旅費、宿泊費、および奨学金-
- 京都大学「Amgen Scholars Program」(英語のみ) : <http://www.opir.kyoto-u.ac.jp/study/en/curriculum/amgenscholars>
- Amgen Scholars: <https://amgenscholars.com/>

短期交流学生 【非正規生】

アムジェン・スカラーズ・プログラムに加え、学部・研究科等の中にはサマープログラムやインターンシップなどの短期特別プログラムを実施し、短期交流学生を受け入れている部局があります (主に大学間学生交流協定校に在籍している学生が対象になります)。受入の有無や詳細については、各学部・研究科等に問い合わせてください。

- 京都大学「Short-Term International Students」(英語のみ) : <https://u.kyoto-u.jp/short>
- 京都大学大学間学生交流協定一覧 : <https://u.kyoto-u.jp/26s3i>
- 京都大学「教育の国際化推進事業」 : <https://u.kyoto-u.jp/slxhg>

日本政府（文部科学省）奨学金留学生として入学するためには

京都大学では、研究留学生、学部留学生、日本語・日本文化研修留学生の3種類の日本政府奨学金の留学生を受け入れています。渡日前に日本政府奨学金へ応募する方法には、以下の2種類があります。

1. 海外にある日本大使館（または総領事館）を通じて応募する「大使館推薦」
2. 日本の大学を通じて応募する「大学推薦」

※最新の情報は、採用年度の募集要項等を確認してください。

募集時期・応募資格・待遇等（2022年1月現在）					
区分	研究留学生		学部留学生（注2）	日本語・日本文化研修留学生（注3）	
募集方法	海外採用				
	大使館推薦	大学推薦（一般枠）	大使館推薦（注4）	大使館推薦	大学推薦
募集時期	4～5月頃	12月下旬～1月頃（注1）	4～5月頃	12月頃	2月頃（注1）
渡日時期	翌年4月上旬または9月下旬	9月下旬	翌年4月頃	翌年9月末頃	9月末頃
選考方法	書類審査、筆記試験および面接等				書類審査および面接等
資格	大学（学部）卒業以上の者（卒業見込の者也可）		高等学校卒業程度の者（卒業見込みの者也可）	来日および帰国時点で日本国以外の大学学部在籍中の者で、日本語・日本文化に関する分野を専攻として専攻している者（渡日する年の9月1日現在、大学での日本語・日本文化学習期間が通算1年以上となること。）	
年齢（渡日する年の4月1日時点）	35歳未満		25歳未満	18歳以上30歳未満	
支給期間	研究生（非正規生）として入学する場合：日本語教育を含め2年以内（日本語教育6ヶ月間、ただし、日本語能力の十分な者は直接入学）（注5・6）		研究生（非正規生）として入学する場合：18ヶ月以内（注6）	日本語教育を含め5年間（日本語教育1年間）（注2）	1学年間
	正規課程（修士課程、専門職学位課程、または博士課程）に入学する場合：それぞれの課程を修了するまでの期間（ただし標準修業年限以内）（注6）				
毎月の奨学金額（注7）	・ 研究生等（非正規生）：143,000円 ・ 修士学生＆専門職学生：144,000円 ・ 博士学生：145,000円		117,000円	117,000円	
	京都市で修学・研究する場合は月額3,000円、宇治市・大山市で研究する場合は月額2,000円を上記金額に加算。				
授業料等（注7）	検定料、入学科、および授業料は免除				
渡航旅費（注7）	往復渡航費（航空券）支給				

（注1）京都大学が行う募集の時期を示しています。

（注2）学部留学生の場合、東京外国語大学または大阪大学で1年間の日本語教育およびその他の予備教育を修了後、大学へ進学することができます。進学先の大学は、文部科学省が予備教育機関及び当該大学と協議して決定します。詳細は、奨学金留学生募集要項をご確認ください。なお、京都大学では、薬学部薬学科および医学部医学科の6年制コースにおいては、国費外国人留学生（学部留学生）の受け入れは行っていません。

（注3）京都大学での日本語・日本文化研修留学プログラムの詳細については、「日本語・日本文化研修留学生プログラム」<https://u.kyoto-u.jp/w-20n>をご覧ください。

（注4）学部留学生の場合、工学部地球工学科国際コース、Kyoto iUPのみで「大学推薦」による採用を行います。募集時期などの詳細は同コースへ問い合わせください。

（注5）京都・滋賀地区の大学に進学予定の、大学院レベルの国費研究留学生および教員研修生に対する集中日本語教育の詳細については、「文部科学省奨学金留学生日本語予備教育集中プログラム」<https://u.kyoto-u.jp/eatcu>をご覧ください。

（注6）修士課程、博士課程、専門職学位課程への進学に伴う奨学金支給期間の延長について、一定の基準を満たす、特に成績優秀な者については、大学および文部科学省による進学に伴う奨学金支給期間の延長審査を受け、奨学金支給期間が延長されることがあります。自動的に全員が認められるものではありません。

（注7）所定の条件を満たさない場合には支給・免除されません。

応募方法（海外採用）

1. 大使館推薦

募集対象国の推薦窓口である日本国大使館（または総領事館）を通じて、募集および第一次選考が行われます。募集等の詳細については、自国の日本国大使館あるいは総領事館のWebサイトで確認してください。なお、中国では、中国教育部を通じて募集および第一次選考が行われます。応募条件、時期や手続等は大使館推薦のものとは異なります。中国教育部推薦による採用者は、渡日時期が通常10月です。詳細は、中国の在籍する大学または中国国家留学基金管理委员会へお問い合わせください。

◆ 手続きおよび連絡方法等

- ① 本学のWebサイト等を利用して、指導を希望する教員を探します。
- ② 在外公館から第1次選考の合格通知を受け取った後、アドミッション支援オフィス（AAO）へのオンライン申請を通じて指導を希望する教員に連絡を取り、受入内諾について相談します。詳細は以下のWebサイトを確認してください。

■ 大使館推薦1次合格者のAAO申請手続きについて：<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/process/scholarship/monka#a01>

- ・ 申請後、教員や大学から受け入れの可否に関する回答を受け取るまでに1か月以上かかります。
- ・ 本学から「大学受入内諾書」を受け取った方は、奨学金手続きに加えて、本学への入学手続きが別途必要です。特に、修士課程、専門学位課程、博士課程に入学を希望する場合は、各研究科が行う入学試験に合格しなければなりません。

スケジュール		
渡日前	4～5月	奨学金応募
	5～8月	大使館による第一次選考 【研究留学生のみ】入学希望大学へ受入依頼（注9）
	10月	文部科学省による第二次選考
	2月（～7月）（注8）	採用通知
	3月（9月）（注8）	入国手続
在日中	4月上旬（9月下旬）（注8）	渡日
		研究生等（非正規生）の場合 - 日本語教育 - 入学試験準備 - 専門分野の研究 正規生の場合 学士、修士、専門職学位、または博士課程開始（注6） ※入学前に入学試験を受験し合格する必要があります
		入学試験
		学士、修士、専門職学位、または博士課程開始（注6）
帰 国		

（注6）修士課程、博士課程、専門職学位課程への進学に伴う奨学金支給期間の延長について、一定の基準を満たす、特に成績優秀な者については、大学および文部科学省による進学に伴う奨学金支給期間の延長審査を受け、奨学金支給期間が延長されることがあります。自動的に全員が認められるものではありません。

（注8）（ ）は修士学生、専門職学生、博士学生、および研究生等が9月下旬に渡日する場合

（注9）大学受入内諾書の発行を希望される方へ：<https://u.kyoto-u.jp/j6o2e>

2. 大学推薦（一般枠）

大学推薦（一般枠）では、研究生、修士学生、専門職学生、博士学生候補者を、京都大学で選考のうえ、日本政府（文部科学省）に推薦します。原則、大学院正規課程（修士課程や博士課程）への進学を目的としない方は大学推薦に応募することはできません。また、文部科学省が指定する国や地域の国籍を有する者のみ応募が可能です。学士課程への入学希望者は、工学部地球工学科国際コース、および、Kyoto iUPのみで大学推薦による採用を行います。大学推薦は、募集の有無や手続等が各研究科によって異なるため、推薦希望者は、入学を希望する研究科事務室（P.27～28参照）に直接問い合わせてください。

スケジュール		
渡日前	12～2月	奨学金応募
		各研究科による選考
	3月	大学による選考
	4～5月	文部科学省による選考
	6月	採用通知
	7～9月	入国手続
在日中	9月下旬	渡日
		研究生等（非正規生）の場合 - 入学試験準備 - 専門分野の研究 正規生の場合 修士、専門職学位、または博士課程開始（注6） ※入学前に入学試験を受験し合格する必要があります
		入学試験
		修士、専門職学位、または博士課程開始（注6）
帰 国		

（注6）修士課程、博士課程、専門職学位課程への進学に伴う奨学金支給期間の延長について、一定の基準を満たす、特に成績優秀な者については、大学および文部科学省による進学に伴う奨学金支給期間の延長審査を受け、奨学金支給期間が延長されることがあります。自動的に全員が認められるものではありません。

- 日本政府奨学金留学生として入学するためには：<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/process/scholarship/monka>
- 京都大学教育研究活動データベース：<http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/view/>
- Find a supervisor：<https://u.kyoto-u.jp/t0a73>
- 日本国外務省「在外公館リスト」：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>
- 日本学生支援機構（JASSO）：<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/index.html>

学納金・授業料免除・入学料免除

授業料等（2022年4月現在）

区分	検定料	入学料	授業料 △*2
学 部	17,000円	282,000円	年額 535,800円
大 学 院	30,000円 *1	282,000円	年額 535,800円
法科大学院	30,000円	282,000円	年額 804,000円
研 究 生	9,800円	84,600円	月額 29,700円

*1 出願書類等による選抜を行なう場合は、10,000円になります。詳細は、入学を希望する研究科等の募集要項をご確認ください。

*2 授業料、その他の費用は、入学時・在学中に改定されることがあります。

納入時期

- 検定料：入学願書等提出時に納入する。
- 入学料：入学手続き時に納付する。
- 授業料：原則として5月、11月の2回に分けて納入する。

授業料免除・入学料免除

学部および大学院正規生で、経済的に困難な状況にあり、学業成績が優秀な学生に対しては、授業料や入学料の全額または半額を免除する制度等があります。出願手続きについては、教育推進・学生支援部学生課奨学掛および所属学部・研究科等の掲示板およびWebサイトにてお知らせしますので、希望者は定期的に確認してください。ただし、免除できる人数に限りがあります。そのため、留学前に十分な費用を工面してから、渡日するようにしてください。

■ 授業料免除・入学料の免除：<https://u.kyoto-u.jp/amwyyx>

奨学金制度

外国人留学生を対象とした奨学金には、日本政府（文部科学省）奨学金に加え、以下のものがあります。ただし、競争率が高く、一部の奨学金を除き、奨学金への応募は入学後になりますので、留学前に十分な資金準備が必要です。

奨学金に関する情報は、以下のWebサイトを参照してください。

■ 日本学生支援機構（JASSO）「日本留学奨学金パンフレット」<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/planning/by-style/pamphlet/>

外国政府による奨学金

京都大学では、各国政府による奨学金を受給している留学生も受入れています。応募時期や奨学金内容等の詳細は、あなたの国の当該所轄庁へ問い合わせてください。

留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人留学生学習奨励費）

日本学生支援機構（JASSO）が、日本国の大学に在籍する私費外国人留学生を対象に学習奨励費を給付するプログラムです。2022年4月現在、学部留学生と大学院留学生に月額48,000円が支給されています。学習奨励費への応募は、通常入学後に大学を通じて行うことができます。

海外留学支援制度（協定受入）奨学金

日本学生支援機構（JASSO）が、学生交流協定等に基づいて海外から日本へ留学する交換留学生を対象として支援する奨学金制度です。日本滞在中、月額80,000円の奨学金が支給されます。奨学金の申請は、交換留学プログラムの応募書類を、在籍大学を通じて京都大学に提出する際に行います。交換留学生が直接、京都大学やJASSOに申請することはできません。

民間団体の奨学金

民間団体の奨学金には、所属大学を通じて応募するものと、奨学団体へ直接個人応募するものがあります。本学では、毎年、留学生のための約60の各種民間奨学団体へ、学内選考により選ばれた候補者を推薦しています。1団体あたり1～2名程度の採用のため競争率が高いです。各奨学金の支給額は、月額30,000円～200,000円程度です。これらの奨学金応募は、通常、入学後になります（一部、既に合格が決定した入学予定者を募集対象に含む場合があります）。在籍中の学生は、所属学部・研究科等事務室の掲示板等のお知らせを定期的に確認して申請してください。奨学金の多くは日本語能力を必要とします。

奨学金については「私費留学生対象奨学金一覧」（25～26ページ）及び財団のWebサイトを確認してください。その他日本学生支援機構（JASSO）等のWebサイト（<https://www.jasso.go.jp/>）からも情報を収集できます。

日本語教育

京都大学国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターでは、①全学共通科目・日本語科目と、②課外の日本語学習支援講座の2種類の日本語教育を行っています。①の対象者は、本学の正規課程の留学生、日本政府（文部科学省）奨学金留学生、交換留学生（特別研究学生[GESRs]を除く）、日本語科目の聴講が認められた研究生とKyoto iUP生です。②は京都大学のすべての留学生が受講でき、入門レベルからビジネス日本語コースを含む上級レベルまでの講座があります。

前期（春期）の講義は4月から8月、後期（秋期）は10月から2月です。講座の受講登録は、年2回、3月と9月頃に下記のWebサイトからオンラインで受け付けますので、受講希望者は必要な手続きを行ってください。同Webサイトでは、シラバスも確認できます。

■ 京都大学国際高等教育院「日本語教育についてのページ」：<https://u.kyoto-u.jp/au51h>

京都大学には、日本語だけを学ぶための日本語学科はありません。日本語の夏季集中クラス也没有ありません。また、留学生の家族は受講できません。

・学外での日本語学習については、以下のWebサイトを参照してください。

■ 京都国際交流協会：<https://www.kcif.or.jp/>

■ 京都府国際センター（日本語学習）：<https://www.kpic.or.jp/nihongo/kyoshitsu.html>

チューター制度

留学生の専攻分野に関連する専攻の大学院生等が、留学生の学習・研究・日常生活に関する助言・協力をを行う制度です。この制度の対象者は、原則として学部学生・大学院生・一部の研究生等で、指導教員がチューターによる個別の指導を必要と認めた者に限られます。対象期間は、原則として大学院生・研究生が渡日後最初の1年間、学部学生が入学後最初の2年間となっています。なお、研究や日常生活などのうち、何に重点を置いてチューターに助言・協力をしてもらうのかは、指導教員等とよく相談してください。その他、詳細は、所属学部・大学院研究科の事務室に問い合わせてください。

留学生のための相談

京都大学には、留学生のための相談窓口がいくつかあります。どの窓口でも、プライバシーや相談内容は秘密厳守され料金は不要です。苦しいときは一人で悩まずに、相談してください。

学生総合支援機構留学生相談室では、生活上の問題、対人関係のトラブル、奨学金等の事務上の問題など、一人では解決できずに困っている様々な悩みや心配事を相談できます。

E-mail: advising@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/students2/campus/advising

くはじめて相談する方へ>

留学生相談室でカウンセラーによる相談を希望される場合は、上記へ予約メールを送ってください。問い合わせメールはいつでも受け付けますが、返信に数日かかることがあります。生活相談は相談員が在室する時間内に直接来館してください。

京都大学留学生ラウンジ「きずな」

留学生ラウンジ「きずな」は、京都大学に在籍する留学生の相互交流を促進し、留学生と日本人学生および教職員との交流のためのスペースとして、2002年春に開館しました。館内には自主学習や言語交換等のできるサロン、日本語学習教材やDVD・洋書などを借りることのできる読書室、そして音楽や映画を楽しむことのできるオーディオルームがあります。また、「きずな」では毎月1回イベントを開催し、学生間の交流のきっかけづくりに動かれています。

■ 京都大学留学生ラウンジ「きずな」：<https://u.kyoto-u.jp/kizunaj>



生活費

生活費は、住宅費や食費にいくら費やすかによって変わりますが、日本学生支援機構（JASSO）の「STUDY IN JAPAN Basic Guide 2021-2022」によれば、近畿地方で生活する留学生の生活費は、月額平均で93,000円（授業料は除く）となっています。

■ JASSO” Study in Japan 基本ガイド： www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/sgtj.html#browse

住まい

京都大学には、留学生と外国人研究者が利用できる宿泊施設を設置しています。また、本学の留学生は、本学が協定等を結んでいる外部の宿舎も利用できます（他大学に通う国内外の学生も入居しています）。

京都大学国際交流会館・外部提携宿舎

部屋数に限りがあるため、すべての申請者に宿泊施設を提供できるとは限りません。

施設名		最寄りキャンパス	入居期間	入居時期
京都大学国際交流会館	修学院	吉田	1ヵ月以上～1年未満（延長なし）	4月 10月
	吉田			
	百万遍			
	岡崎			
	宇治			
	おうばく	宇治	1ヵ月以上～2年未満（延長なし）	
さつき寮/みずき寮		吉田	6ヵ月または1年（最低3ヵ月以上）	
きょうと留学生ハウス		吉田	6ヵ月または1年（最低1ヵ月以上）	

- 対象者：新規入学生（Newcomer）であり、来日して1年未満の外国人留学生。
- 募集時期：1月と7月（希望する入居月の3ヶ月前）
- 入居申請手続き：受入教員もしくは所属する学部/研究科等事務室に事前に相談します。
- 料金：立地条件や部屋の種類によって異なります。例えば、おうばく分館の場合、単身室は月額12,400円です（水道料金、寝具使用料、インターネット回線使用料込み）。

■ 京都大学国際交流会館： <https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/housing/facilities/>

民間の住居

アパートを探す場合は、日本に到着後に京都大学生生活協同組合や賃貸不動産業者へ行き、物件を探します。物件の相談や見学は無料ですが、契約が決まれば仲介手数料が必要です。不動産業者の中には、外国語対応が可能で、来日前から相談できるところもあります。通常、アパートを借りる際には、家賃の他に、礼金（権利金）と敷金（保証金）として家賃の2、3ヵ月分程度の支払と、連帯保証人が必要です。不明な点がある場合は、契約の前に不動産業者や家主に必ず確認してください。

家賃は、立地条件、また部屋の大きさ・設備によっても料金が異なります。京都市内で部屋を借りる場合の一般的な料金は次のとおりです。通常、部屋に家具はついていません。

- 単身用（台所・トイレ等共同）：月額¥25,000～30,000
- 単身用（台所・トイレ・風呂付）：月額¥45,000～

● 部屋探しに役立つ Web サイト

■ 京都大学国際交流サービスオフィス「外国人のための住まい探し」： <https://u.kyoto-u.jp/zr54q>

■ 京大生協「住まい探し」（日本語のみ）： <https://www.s-coop.net/service/life/looking/>

査証・在留資格・諸手続き

入学試験のための「短期滞在」査証

入学試験を受験する目的で日本へ入国する場合には、自国の在外日本国公館で、入国目的を必ず「受験のため」と申告し、「短期滞在」査証（ビザ）を取得してください。この査証では収入や報酬を受けることはできません。なお、短期滞在で日本に入国し、別の在留資格へ変更することは、やむを得ない特別な事情がないと認められません。また、原則として「在留資格認定証明書」や理由書の提出が求められますので、注意してください。

入学のための「留学」査証

新規入国の場合

合格者は、本学発行の入学許可書または合格通知書、パスポート、関係書類を在外日本国公館に提出し、「留学」査証（ビザ）を申請してください。また、査証を取得するためには、事前に日本での生活費が確保できることの証明が必要とされる場合があります。京都大学国際交流サービスオフィスでは、所属学部・研究科等事務室からの依頼を受けて、京都大学へ入学が決定した入学予定者およびその家族の在留資格認定証明書交付代理申請を行なっています。入学が決定したら、所属学部・研究科等事務室へ問い合せてください。なお、大使館推薦等の国費留学生は、在留資格認定証明書を申請する必要がありません。「留学」査証については、自国の日本大使館・領事館の指示に従ってください。

■ 京都大学国際交流サービスオフィス「資格・査証（ビザ）について」：<https://u.kyoto-u.jp/cg4yd>

すでに日本に滞在している場合

入学手続き時の在留資格が、「留学」でない場合は、入学決定後に、出入国在留管理局で「留学」資格に変更しなければなりません。

- 法務省「在留資格変更許可申請」：<http://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/16-2.html>
- 出入国在留管理庁「在留期間更新許可申請」：<http://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/16-3.html>
- 京都大学国際交流サービスオフィス「在留資格変更」：<https://u.kyoto-u.jp/80cri>
- 京都大学国際交流サービスオフィス「在留期間更新」：<https://u.kyoto-u.jp/qinyu>

在留カード

日本に新たに入国し、3ヶ月を超えて滞在する予定の外国人居住者には、在留カードが発行されます。在留カードは、成田、羽田、中部、関西、新千歳、広島および福岡空港に到着する場合は、入国審査時に上陸許可に伴い交付されます。その他の出入国港より入国する場合は、居住地区の役所に日本の居住先の届出をした後、登録された住所宛へ在留カードが郵送されます。在留カードは法律により常時携帯することが義務付けられています。

住民登録（居住地の届出）

3ヶ月を超えて日本に滞在する外国人は、入国し、居住地を定めてから14日以内に居住地区の役所で、住民登録（居住地の登録）をする必要があります。

■ 住民登録：<https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/life/resident/ja>

国民健康保険（国保）

日本に3ヶ月以上滞在する外国人は、日本の公的な医療保険に加入しなければなりません。最も一般的なものは国民健康保険（国保）です。受診の前に病院の受付で国民健康保険証を提示すれば、保険診療適用内の医療費についてはその30%を支払うだけで受診できます。保険料は、家族の有無などの諸条件により異なりますが、例えば京都市在住の単身の留学生の場合は、年間約18,000円です。ただし、在留資格「短期滞在」もしくは「留学（在留期間3ヶ月）」の場合は、国保に加入できないため、来日前に旅行保険等に参加することをお勧めします。国民健康保険の加入手続きは、居住地区の市（区）役所・支所で住民登録申請の後に行います。

■ 国民健康保険：<https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/life/national/ja>

資格外活動許可証・アルバイトについて

出入国管理国から事前に「資格活動許可証」を取得した留学生にかぎり、アルバイトをすることができます。許可証は入国港および出入国管理局で申請できます。以下の注意点を必ず守ってください。

- ① アルバイトが学業に支障を来さないものであること。
- ② 就業時間は、「留学」の在留資格を持つ留学生は一律1週28時間以内です。ただし、長期休暇中は法律で定められている週40時間の範囲内であれば1日8時間まで就労できます。
- ③ 風俗営業等、公序良俗に反する仕事には従事できません。
- ④ 休学中はアルバイトはできません。

許可を得ないでアルバイト活動に従事した場合は、処罰の対象になります。

私費留学生対象奨学金一覧

私費留学生のための奨学金には、本学を通じて応募するものと、奨学団体へ直接個人応募するものがあります。ほとんどの奨学金は、京都大学の正規生を対象とし、応募は入学後になります。また、奨学金の多くは日本語能力を必要としており、競争率が高いです。以下の一覧表は2022年3月現在のものです。年度により変更があります。最新情報や応募方法等については、学部・研究科等事務室の通知等を確認してください。なお、表示の締切時期は、奨学団体に応募する締切です。学内の締切日は、奨学団体の締切日より一ヵ月以上早くなります。この他奨学金に関する情報はP.21「民間団体の奨学金」を参照してください。

■ 大学を通じて応募する外国人留学生向奨学金:<https://u.kyoto-u.jp/ln7va>

(注釈) JEES：日本国際教育支援協会

直接応募：奨学団体へ直接応募する奨学金

日本語能力:

▲：特に条件としない

○：コミュニケーション能力必要。財団による面接が日本語により行われる場合があります。

●：高い日本語能力が必要

E：英語で応募可能

(2022年3月現在)

奨学金名等	支給対象(概略)		推薦人数	月額支給額(円)	受給期間	日本語能力	奨学団体締切時期
	出身地域、専攻分野等	学年、年齢					
イオンスカラシップ	インドネシア、カンボジア、韓国、タイ、台湾、中国、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス出身。宗教系を除く全学部、分野。	30歳以下の学部 35歳以下の修士	6名	月額100,000円 および授業料	最長2年	○	4月中旬
SGH財団	東南アジア諸国(フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ・ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア)出身。	26歳以下の学部3年/医学部5年。34歳以下の修士1年/博士2年/医学博士3年。	学部:1名 修士:1名 博士:1名	学部・修士:120,000 博士:180,000	2年	○	4月中旬
山岡育英会	東アジア、東南アジア地域出身。	34歳以下の修士1年・博士2年	2~3名	100,000	2年	○	4月中旬
東京海上各務記念財団 ASEAN奨学生	ASEAN諸国出身	30歳以下の修士 35歳以下の博士	1~2名	180,000	最短修業年限	○	4月中旬
橋本記念会	東アジア地域出身。人文科学系。	学部・修士・博士	若干名	100,000	最短修業年限	○	4月下旬
櫻山奨学財団	アジア・太平洋地域出身	29歳以下の修士1年 34歳以下の博士1~2年	1名	120,000	最長2年	○	4月下旬
住友電工グループ社会貢献基金	理工系(電気系、機械系、材料系、化学系又は物理系等)	修士1年	1名	100,000	2年	○	4月下旬
西村留学生奨学財団	大阪府在住。南西アジア、東南アジア、東アジア地域出身。	学部3年・修士1年・博士1年	1~2名	120,000	学部・修士:最長2年 博士:最長3年	○	4月下旬 10月下旬
フジシールパッケージング 教育振興財団	パッケージに関連のある分野(化学、機械、電気電子、パッケージデザイン、リベラルアーツ、マーケティングなど、パッケージに関連するあらゆる分野)	学部3年	1名	100,000	2年	▲	4月下旬
JEES・三井不動産奨学金	中国、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン、インドネシア、インド、ネパール出身 文学、法学、政治学、経済学、商学、社会学、理学、工学	学部3~4年、 修士、博士	3名	150,000	最長2年	○	4月下旬
大塚敏英育英奨学財団奨学生	医学・薬学・工学(ただし医学・薬学に関連の深い分野)・経営学	37歳以下の学部3年以上・修士・博士	直接応募	一括200万円、 150万円、または 100万円	1年 継続可	E	4月下旬
国際日本文化研究交流財団	日本文化を研究テーマとする文系	博士またはこれに準ずる者	1名	100,000	最長3年	●	5月上旬
朝鮮奨学会	韓国人・朝鮮人学生	29歳以下の学部2~4年 39歳以下の修士・博士	学部:1名 修士・博士:3名	学部:25,000 修士:40,000 博士:70,000	学部・修士:1年 博士:最長2年	○	5月上旬
ウシオ財団外国人留学生奨学生	中国出身	修士・博士	直接応募	120,000	最短修業年限	○	5月上旬
双日国際交流財団奨学金助成	国籍の割合考慮	29歳以下の学部3年以上 34歳以下の修士・博士	2~4名	学部:70,000 修士・博士:100,000	最長2年	○	5月上旬
みずほ国際交流奨学財団	理工系(医薬系対象外) 在籍残期間が2年以上の者	35歳以下の学部・ 修士・博士	3名	100,000	最長2年	E	5月中旬
味の素奨学会 AJINOMOTO SCHOLARSHIP	アジア、アフリカ、南米地域出身。 食・栄養・保健分野。	29歳以下の修士・博士	—	150,000	最長2年	E	5月中旬
JEES ドコモ留学生奨学金	インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国(香港、マカオを含む)、ネパール、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス出身。通信・情報処理技術および関連分野	修士1年	2名	120,000	2年	○	5月中旬
京都市国際交流協会 張鳳俊奨学基金	アジア地域出身	学部2年以上・修士・博士	1名	50,000	1年	○	5月中旬
JEES留学生奨学金 (少数受入国)	少数受入国出身者	学部・修士・博士または交換留学生	—	50,000	最長2年	○	5月中旬
JEES 日本語教育普及奨学金 (日能)	日本語能力試験1級合格者。 日本語指導者を志す者。	学部・修士・博士	3名	50,000	最長2年	●	5月中旬
JEES 日本語教育普及奨学金 (検定)	日本語教育能力検定試験合格者	学部・修士・博士	1~3名	50,000	最長2年	●	5月中旬
JEES 留学生奨学金(修学)	学業成績優秀者(前年度の成績評価係数2.60以上)	学部2年以上・修士・博士	3名	40,000	最長2年	○	5月中旬
同盟育成会 古野給与奨学金	ジャーナリズム・マスコミ関係分野	修士1年	1名	60,000	最長2年	○	5月中旬
清水育英会	建築、土木または都市計画等を専攻	学部2~4年・修士	1名	50,000	最短修業年限	○	5月中旬
三菱UFJ信託記念奨学財団	法学・経済学・理学・工学・農学・エネルギー科学・情報学・生命科学・地球環境・法科・公共政策・経営管理の学部・研究科所属。東南アジア地域出身。	31歳以下の学部2年次以上 38歳以下の修士・博士	学部:1名 修士・博士:1名	学部:70,000 修士・博士:100,000	最短修業年限	○	5月下旬
文部科学省外国人留学生 学習奨励費	学部・修士・博士・研究生	—	—	学部・修士・博士: 48,000円	1年	E	5月下旬
国土育英会	学部・修士・博士	—	1名	100,000	最短修業年限	E	5月下旬
村田海外留学奨学会	法学、経済学、工学分野	学部2年以上・修士・博士	5名	年額150,000	1年	○	7月上旬
井内アジア留学生記念財団 「大学(院)在籍留学生奨学金」	ASEAN諸国(インドネシア・カンボジア・シンガポール・タイ・フィリピン・ブルネイ・ベトナム・マレーシア・ミャンマー・ラオス)出身	26歳以下の学部、 34歳以下の修士・博士	若干名	月額30,000円、または月額 40,000円(ダブルディグ リープログラムの奨学生)	最短修業年限	▲	7月中旬 1月中旬
井内アジア留学生記念財団 「渡日前大学院留学生奨学金」	ASEAN諸国(インドネシア・カンボジア・シンガポール・タイ・フィリピン・ブルネイ・ベトナム・マレーシア・ミャンマー・ラオス)出身	34歳以下の修士・博士入学予定者 応募日現在において、ASEAN諸国に在住する者	若干名	月額110,000円および入学料、授業料等	最短修業年限	▲	7月中旬 1月中旬
KDDI財団	法律・政治・経済・社会・文化・技術の分野において情報通信関連をテーマとして専攻	35歳以下の修士・博士	6名	100,000	6ヶ月または1年	E	8月上旬
KMMFスカラシップ 松下幸之助記念志財団 新奨学金	「日本と諸外国との相互理解」もしくは「自然と人間との共生」に関する研究テーマ。西アジア、中央アジア、東南アジア、東アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国出身。	10月入学の修士	4名	月額120,000円、 入学金、授業料、 及び渡航費	最長2年	E	8月上旬

奨学金名等	支給対象(概略)		推薦人数	月額支給額(円)	受給期間	日本語能力*	奨学団体締切時期
	出身地域、専攻分野等	学年、年齢					
佐藤陽国際奨学財団奨学生	バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナム出身	学部・修士・博士	—	学部:150,000 修士・博士:180,000	最短修業年限	○	8月下旬/1月上旬
上原記念生命科学財団 来日研究生助成金	生命科学・医学・薬学分野	39歳以下の修士・博士	1名	150,000	最長2年	▲	9月上旬
野村財団外国人留学生奨学金	人文科学、社会科学系	35歳以下の修士・博士	直接応募	200,000	2年	○	9月下旬
東急財団	韓国、中国、モンゴル、台湾、香港、マカオ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ミャンマー、ブータン、ネパール、インド、バングラデシュ、スリランカ、モルディブ、パキスタン、アフガニスタン、ロシア、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、太平洋上諸島・諸国(フィジー、トンガ等)	修士・博士	直接応募	180,000	最長2年	○	9月下旬
ロータリー米山記念奨学会	国籍の割合考慮	44歳以下の学部3年以上・修士・博士2年以上	6名	学部:100,000 修士・博士:140,000	最長2年	○	10月中旬
藤井国際奨学財団	アジア地域出身	25歳以下の学部30歳以下の修士35歳以下の博士	1名	50,000	最短修業年限	○	10月下旬
平和中島財団	学部・修士・博士		学部:1名 修士・博士:1名	100,000	1年	○	10月下旬
伊藤国際外国人奨学金	修士課程入学予定者	修士1年	直接応募	180,000	最長2年	○	10月下旬
本庄国際奨学財団	日本以外の国籍	修士・博士	直接応募	150,000~ 200,000	選択	○	10月下旬
綿貫国際奨学財団	アジア太平洋地域出身。国籍・男女数の割合考慮。	修士・博士	3名	150,000	1年 継続・再応募可	○	11月上旬
JEES・JX石油開発インドネシア留学生奨学金	インドネシア国籍を有する理学系または工学系	10月入学の修士	—	月額60,000円および一時金(200,000円/年)	最長2年	E	11月上旬
イオンスカラシップ(渡日前アセアン学生用)	ミャンマー、カンボジア出身。宗教系を除く学部、分野。 渡日後、大学在籍期間に日本語能力3級程度を目指す意思のある者。	入学年度の4月1日時点で30歳以下の学部入学予定者、35歳以下の修士入学予定者	2~3名	月額100,000円および授業料	最長2年	▲	11月中旬
日揮・実吉奨学会(第二種)	理工系(農学を含み、医学・薬学除く)	学部・修士・博士・研究生	2名	年額300,000	1年	○	11月中旬
似鳥国際奨学財団 留学生奨学金	日本以外の国籍	学部・修士	直接応募	50,000	1年	○	11月中旬
日中友好協会アリアケジャパン奨学金	中国出身。社会科学系(法学・政治学関係、商学・経済関係)。	修士・博士	直接応募	70,000	1年	○	11月中旬
堀田育英財団	学部・修士・博士		2名	80,000	最長2年	○	11月下旬
JESS豊田通商留学生奨学金	社会科学(法学・経済学)、人文科学、理学・工学専攻。国籍の割合考慮。	学部3年・修士・博士	3名	100,000	2年	○	11月下旬
JEES T. パナージインド留学生奨学金	インド出身。日本語能力試験3級以上。	学部・修士・博士	1名	100,000	最短修業年限	○	11月下旬
JEES大成建設外国人留学生奨学金	ベトナム、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、ミャンマー(建築・土木のいずれか)。	学部・修士	1名	150,000	最短修業年限	○	11月下旬
大塚敏英育英奨学財団	国籍の割合考慮。医学・薬学・経営学。	38歳以下の医学・薬学:博士 経営学:修士・博士	医・薬学:2名 経営学:1名	年額1,000,000、1,500,000、または2,000,000	1年 継続可	E	12月上旬
エプソン国際奨学財団	工学分野	34歳以下の修士・博士	1名	100,000	最長2年	○	12月中旬
川崎章司記念 スカラーシップ基金	人文・社会・自然諸科学分野	学部3~4年、修士・博士	1名	120,000	最長2年	○	12月中旬
JEES生命保険協会留学生奨学金 (セイホスカラーシップ)	アジア地域出身。国籍の割合考慮。	学部3年・修士1年	2名	100,000	2年	○	12月中旬
岩谷国際留学生奨学助成	東アジア・東南アジア地域出身。自然科学系。	修士、博士、博士学位取得のための継続在籍者	直接応募	150,000	最長2年	○	12月中旬
清和国際留学生奨学会	アジア、オセアニア地域出身。国籍の割合考慮。	29歳以下の学部34歳以下の修士・博士	学部:1名 修士・博士:1名	学部:80,000 修士・博士:100,000	2年	○	12月下旬
ジャパンマテリアル 国際奨学財団	ベトナム国籍	学部2~4年・修士・博士	—	100,000	1年	○	12月下旬
JEESソフトバンクAI人材育成 奨学金	人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)	修士1年	5名 (日本人含む)	月額80,000円および一時金(40,000円/年)	1年	○	1月上旬
ロッテ国際奨学財団	アジア地域出身	35歳以下の学部・修士・博士	2名	180,000	最長2年	●	1月上旬/7月下旬
アジア国際交流奨学財団 「川口静記念奨学生」	アジア地域出身	29歳以下の学部34歳以下の修士・博士	—	学部・修士:60,000 博士:70,000	1年	○	1月中旬
市川国際奨学財団	アジア地域出身(南アジア含む)。在籍残期間が2年以上の者優先。	29歳以下の学部34歳以下の修士・博士	学部:4名/ 修士・博士:2~3名	学部:100,000 修士・博士:120,000	学部:1年/ 修士・博士:2年	○	8月下旬/1月中旬
安田奨学財団	法学、経済学、経営学及び商学分野	学部2年	2名	100,000	最長3年	○	1月中旬
共立国際交流奨学財団	アジア地域出身者。在籍残期間が1年以上の者。	学部・修士・博士	学部:1名 修士・博士:1名	学部:60,000、または100,000 修士・博士:100,000	1年	○	1月下旬
JEES三菱商事奨学金	国籍の割合考慮	学部3年以上・修士・博士	5名	学部:120,000 修士・博士:150,000	最短修業年限	E	1月下旬
かめのり財団 大学院留学アジア奨学生	ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、東ティモール、ベトナム、大韓民国、台湾、中国本土、香港、マカオ出身。人文科学系および社会科学系分野。	4月入学の修士・博士	1名	200,000	最短修業年限	○	2月上旬
竜の子財団	アジア地域出身	35歳以下の学部2年以上・修士・博士	学部:1名 修士・博士:1名	100,000	2年	●	2月上旬
橋谷奨学会	インドネシア出身	学部・修士・博士・研究生	2名	100,000	最短修業年限	○	2月上旬
服部国際奨学財団	アジア地域出身(東南アジア優先)。日本語能力検定2級以上。	29歳以下の学部34歳以下の修士39歳以下の博士	直接応募	100,000	2年	●	2月中旬
加藤朝雄国際奨学財団	アジア地域出身	29歳以下の修士34歳以下の博士2~3年	2名	修士:130,000 博士:150,000	最長2年	●	3月上旬
百賢亞洲研究院 Asian Future Leaders Scholarship Program	アジア地域出身で、アジアの指定大学の学士学位取得者	34歳以下の修士入学予定者	10名	年額25,000 USD	2年	E	3月中旬
帝人久村奨学財団	医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系	修士1年・博士1年	修士・博士:各1名	修士:50,000 博士:60,000	最短修業年限	▲	修士:3月中旬/博士:9月下旬
JEES石橋財団奨学金	美術史専攻	大学院入学予定者(研究生含む)	—	150,000	2年	○	3月中旬/6月中旬
小林国際奨学財団(一般)	アジア地域出身	35歳以下の学部3年以上・修士・博士	学部:1名 修士・博士:2名	学部:150,000 修士・博士:180,000	学部・修士:2年 博士:3年	○	3月下旬
旭硝子奨学会	タイ、インドネシア、中国、韓国、ベトナム出身	修士・博士1年	指定国より各1名	100,000	最短修業年限	○	3月下旬
アジア開発銀行・日本奨学金 プログラム	アジア地域のADB借款国出身で、2年以上の就業経験者。工学・農学・地球環境・経営管理・経済の指定コース入学者。	34歳以下の修士入学予定者	若干名	月額147,000円および渡航費、授業料等	2年	E	指定コースによって異なる

事務局連絡先

文学研究科・文学部	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : bun.kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
教育学研究科・教育学部	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : 020kyokyo2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
法学研究科・法学部・法科大学院	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : kyomu032@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
経済学研究科・経済学部	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : kyomu@econ.kyoto-u.ac.jp
理学研究科・理学部	606-8502 京都市左京区北白川追分町 E-mail : 050ryugaku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
医学研究科・医学部	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 E-mail : kyomu-in@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
医学研究科・医学部人間健康科学科	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 E-mail : 060-992hs-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
薬学研究科・薬学部	606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 E-mail : 080yakukyomu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
工学研究科・工学部 福井謙一記念研究センター	615-8530 京都市西京区京都大学桂 E-mail : 090kryugakusei@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
農学研究科・農学部	606-8502 京都市左京区北白川追分町 E-mail : agri-kyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (研究科) agri-kyomu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (学部)
人間・環境学研究科 総合人間学部	606-8501 京都市左京区吉田二本松町 E-mail : 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (研究科) 110kyomu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (学部)
エネルギー科学研究科	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : intl@energy.kyoto-u.ac.jp
アジア・アフリカ地域研究研究科	606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 E-mail : kyomu@asafas.kyoto-u.ac.jp
情報学研究科	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
生命科学研究科	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 E-mail : 150kyomu@adm.lif.kyoto-u.ac.jp
総合生存学館 (思修館)	606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1東一条館 E-mail : gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
地球環境学舎	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : 160tikyukankyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
公共政策教育部 (公共政策大学院)	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : kyomu033@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
経営管理教育部 (経営管理大学院)	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : keieikyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
化学研究所 エネルギー理工学研究所 生存圏研究所 防災研究所	611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 E-mail : uji.sien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
人文科学研究所	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : zb-soumu@zinbun.kyoto-u.ac.jp

医生物学研究所 東南アジア地域研究研究所 iPS細胞研究所 アフリカ地域研究資料センター	606-8507 京都市左京区聖護院川原町53 E-mail : A50soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
人と社会の未来研究院	606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 ※連絡先はホームページをご確認ください。
基礎物理学研究所	606-8502 京都市左京区北白川追分町 E-mail : soumu@yukawa.kyoto-u.ac.jp
経済研究所	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : soumu@kier.kyoto-u.ac.jp
数理解析研究所	606-8502 京都市左京区北白川追分町 E-mail : soumu@kurims.kyoto-u.ac.jp
複合原子力科学研究所	590-0494 大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目 E-mail : soumu2@rri.kyoto-u.ac.jp
霊長類研究所 (2022年4月からヒト行動進化研究センターに組織改編予定)	484-8506 愛知県犬山市官林41-2 E-mail : soumu_reichou@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
学術情報メディアセンター	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : 740jyohokikaku-soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
放射線生物研究センター	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 E-mail : 060hosei@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
生態学研究センター	520-2113 滋賀県大津市平野2丁目509-3 E-mail : 620groupA@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
野生動物研究センター	606-8203 京都市左京区田中関田町2-24 E-mail : office@wrc.kyoto-u.ac.jp
高等教育研究開発推進センター	606-8501 京都市左京区吉田二本松町 E-mail : 550soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
総合博物館	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp
フィールド科学教育研究センター	606-8502 京都市左京区北白川追分町 E-mail : johok@kais.kyoto-u.ac.jp
国際高等教育院	606-8501 京都市左京区吉田二本松町 E-mail : A30kyomuj@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
大学文書館	606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 E-mail : archives@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
高等研究院 (KUIAS)	606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町 E-mail : info@kuias.kyoto-u.ac.jp
物質－細胞統合システム拠点 (iCeMS)	606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町 E-mail : info@icems.kyoto-u.ac.jp
ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi)	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 E-mail : ASHBi-info@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
入試企画課 (学部正規生一般入学試験および特色入試についてののみ)	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : nyushi1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
国際教育交流課	606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : studyku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

キャンパス

京都大学には「吉田」「宇治」「桂」の3つのキャンパスに加え、全国各地に附属施設があります。

① 吉田キャンパス

創立以来、京都大学の中枢部が置かれています。創立期の煉瓦造りの建造物から最先端の研究所まであらゆる施設が混在しています。歴史と伝統を継承しつつ最先端の研究教育が展開されています。

② 宇治キャンパス

1949年に発足したキャンパスです。現在は主に自然科学・エネルギー系の研究所が置かれた、最新鋭の研究施設が集まるテクノロジー開発の最先端地域です。

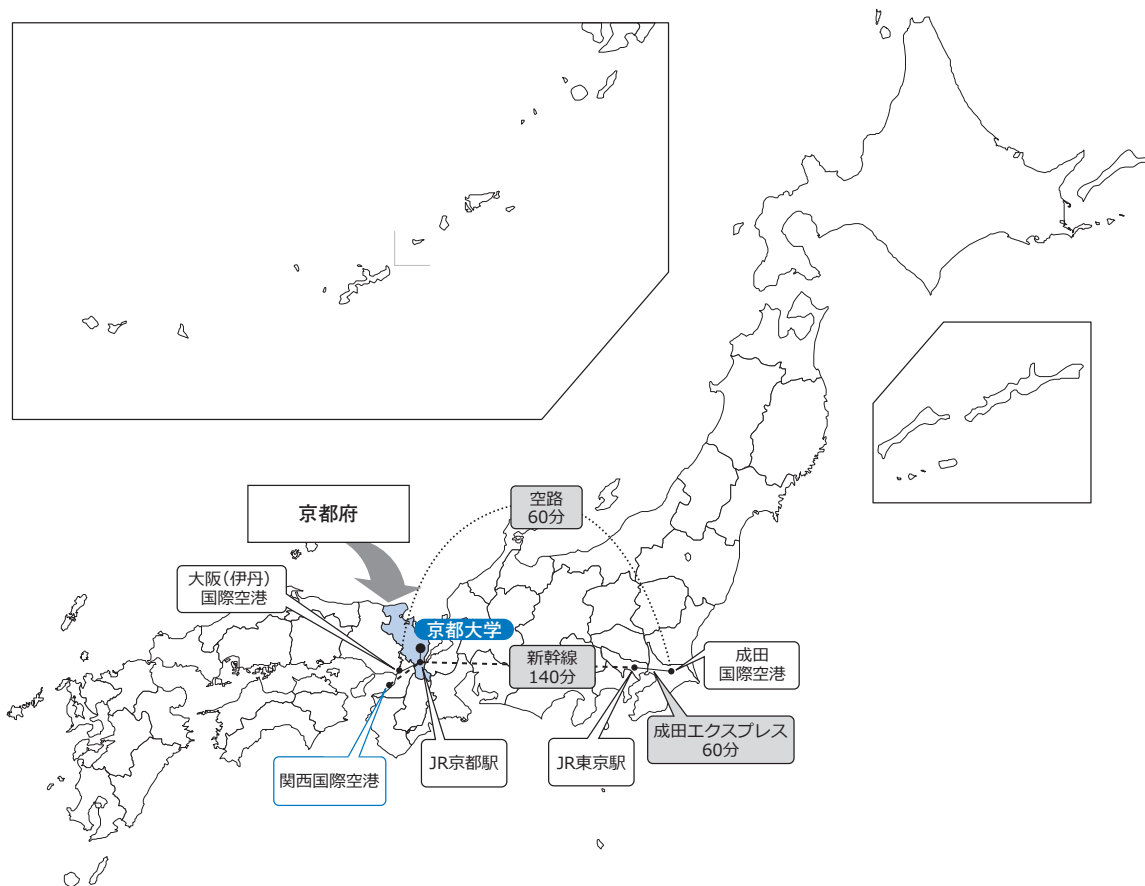
③ 桂キャンパス

2003年10月に開設された3番目のキャンパスです。テクノロジーとサイエンスが融合する新しい研究教育の場“テクノサイエンスヒル”の形成を目指しています。

京都府



京都大学の位置



空港からJR京都駅までの交通手段には、電車、バス、タクシーがあります。

移動時間や料金等、詳しくは下記のWebサイトを参照してください。

■ アクセス：<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access>

京都の魅力と生活

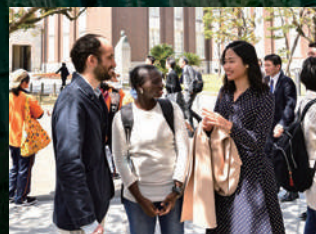
1200年の都。

平安建都以来1200年の歴史を奏でること・京都に息づく京都大学は、三方を山に囲まれた京都盆地の中に主要な3キャンパスが所在しています。京都で学ぶこと、そして京都を学ぶことは、日本の歴史・文化のみならず、日本という外国についての深い見識を得ることで、国際人としての素養と教養を一層磨くことができるでしょう。



大学の街、学生の街。

京都市には、およそ30の大学が集まっており、国内外から多数の学生や研究者を惹きつけています。京都市に住む10人に1人は大学生とも言われており、まさに「学生の街」と呼ぶことができます。首都・東京や関西の大都市・大阪からほどよい距離にあるこの街は、学生の活気にあふれ、治安もよく、落ち着いた環境の中で勉強や研究に没頭することができます。



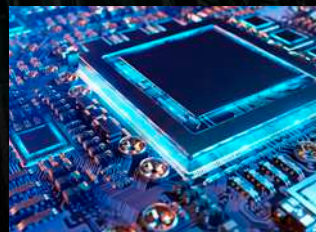
17の世界文化遺産。

古都京都の文化財として登録されている寺院、神社、城は17ヶ所に上ります。京都に残る自然や数多くの文化財は、そこに集まる人々の内的な対話と探求を支え、新しい文化を育んできました。また京都は、世界無形文化遺産に登録された「和食：日本人の伝統的な食文化」の味わいや美しさを、今も京料理として守り続けています。京都での暮らしのなかで、美しい四季の変化、古都の文化・伝統に常に触れることができます。



伝統と革新の共存。

京都には、創業500年にわたる老舗企業が染物や焼き物といった伝統産業を受け継ぐ一方で、精密機械産業、製造産業、ゲーム産業など、最先端の技術を持つ世界規模の企業も多数存在します。日本のみならず世界から集まる多様なバックグラウンドを持つ人々が、今日もこの街のどこかで出会い、交流し、新しい知を創造しています。京都大学は、そんな京都との地域連携を通じてイノベーションを創出し、国内外に伝えることを目指します。



京都の気候は？

京都には四季があります。夏は暑くて、冬は寒いです。夏の最高温度は35度を超えたり、冬の最低温度がマイナスに達する時もあります。春や秋は過ごしやすい気候で、お花見や紅葉を楽しむ人々で賑わいます。梅雨の時期、6月から7月にかけては雨がたくさん降ります。



日本語版

2022年度 京都大学への留学案内

京都大学 国際教育交流課

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

studyku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1>

